



# 「次世代郊外まちづくり」 モデル地区 アンケート調査（全体結果）

2012年12月

横浜市

東京急行電鉄株式会社



# 目次

調査概要	3
1. たまプラーザに対する満足状況とニーズ	5
1) たまプラーザに対する全体満足度	6
2) たまプラーザの生活環境別満足度	7
3) たまプラーザに対する不安・不満・不便さ	8
4) たまプラーザに充実してほしい子育て施設やサービス	9
5) たまプラーザに充実してほしい高齢者施設やサービス	10
6) 定住意向	11
2. 地域とのつながり・交流・街づくりに関する実態とニーズ	13
1) 知人や友人の存在	14
2) 地域とのつながりニーズと現状	15
3) 地域とのつながりに対する考え	16
4) 地域での交流機会ニーズ	17
5) 趣味・余暇活動	19
6) 参加している活動・今後参加したい活動	20
7) 現在の就業状況・定年退職後の就労意向	21
8) 街づくりの担い手となる意向	22
9) 保有している資格	23
10) 「郊外住宅地の再生型まちづくり」の取り組みの認知	24

# 目次

3 . 情報・移動・環境に関する実態とニーズ	25
1 ) 利用しているコミュニケーションツール	26
2 ) 外出頻度・移動手段	27
3 ) 外出時の不安・不便さ	28
4 ) 移動（モビリティ）に対するニーズ	29
5 ) 環境・エネルギーに対する意識	30
4 . 住まいに関する実態とニーズ	31
1 ) 住居形態・築年数・居住年数	32
2 ) 建物階数・居住階	33
3 ) 住まいの選択理由	34
4 ) 住まいに対する満足度	35
5 ) 住まいや住まい周辺の不安・不満・不便さ	36
6 ) 住まいに対する意識	37
5 . 家族・世帯の状況	38
1 ) 未既婚・ライフステージ	39
2 ) 同居家族構成・離れている家族	40
3 ) 職業（回答者本人・世帯主）	41
4 ) 暮らし向き意識・収入源	42



# 調査概要



# 調査概要

1. 調査対象 横浜市青葉区美しが丘1～3丁目に居住する全世帯(6495世帯)  
\*世帯数は2012年3月31日現在
2. 調査方法 自記式アンケート調査 訪問留置郵送回収、一部訪問回収
3. 調査期間 2012年7月26日～8月10日
4. 依頼・回収状況 依頼:4752世帯 回収:1358世帯(依頼数に対し28.6%)



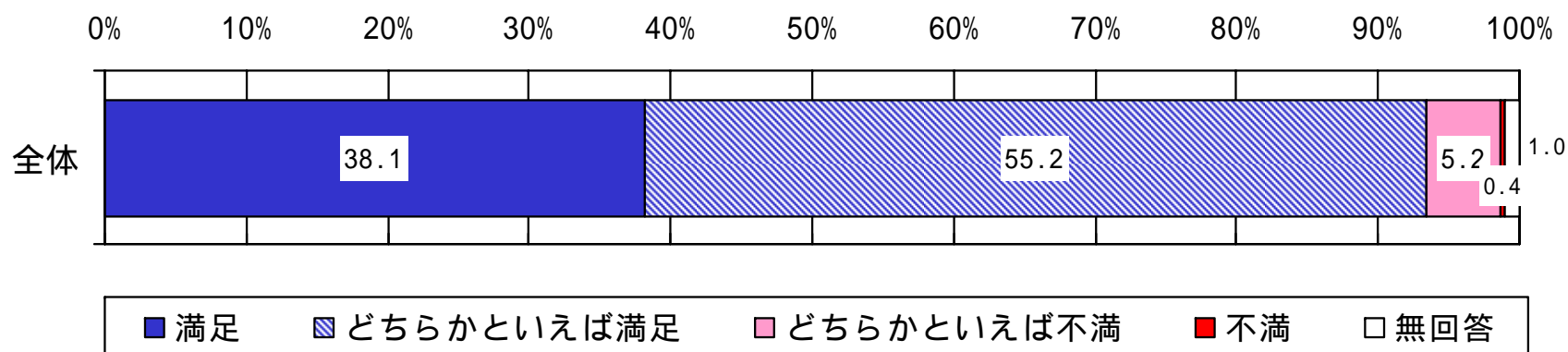
# 1 . たまプラーザに対する満足状況とニーズ



# 1) たまプラーザに対する全体満足度について

たまプラーザに「満足」している人は約4割、「どちらかといえば満足」を含めると9割以上となり、全体的な満足度は高いといえます。

図表1 - 1 たまプラーザに対する満足度:全体満足度(Q2)

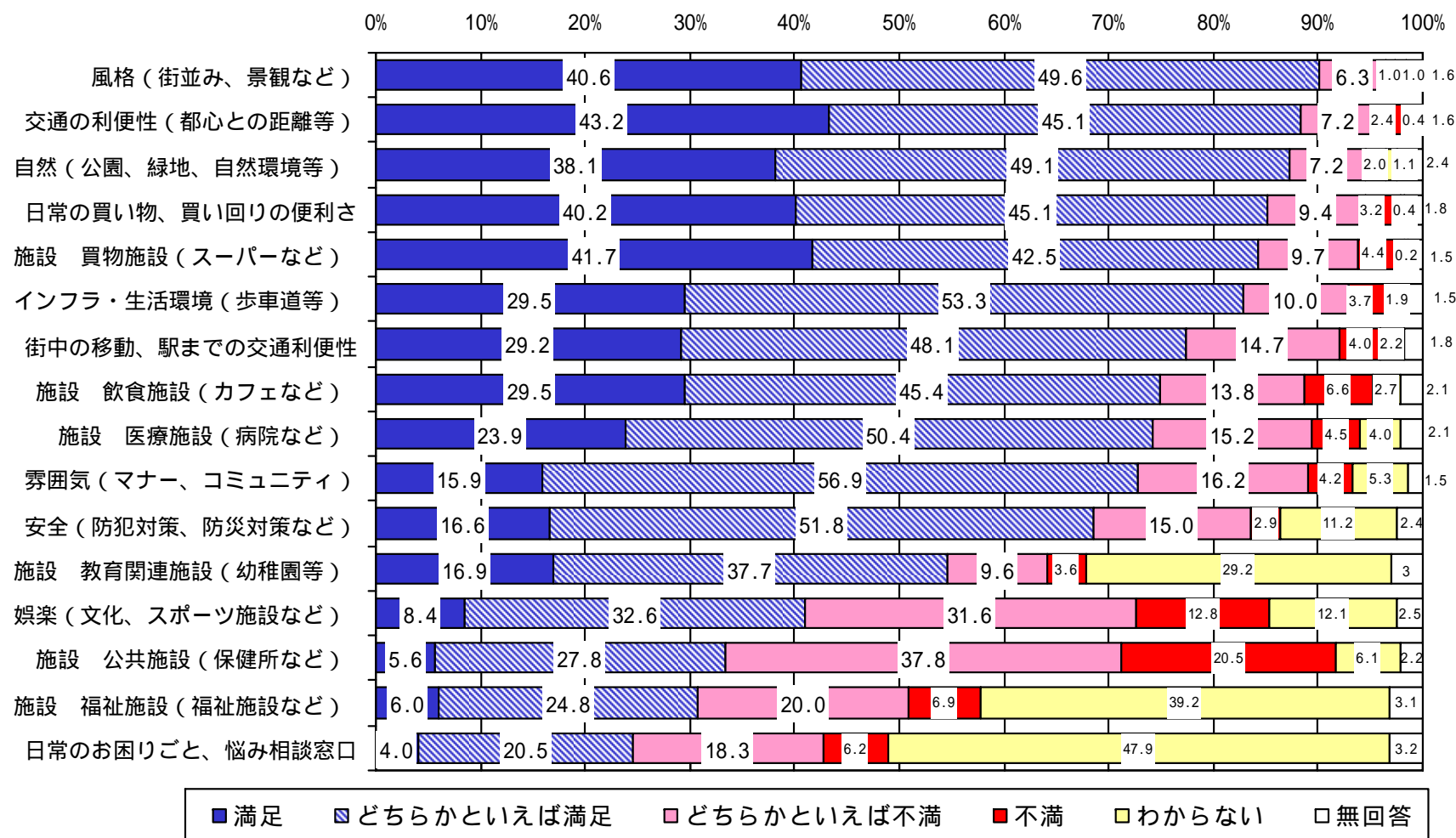


ベース人数:1358人

## 2) たまプラーザの生活環境別満足度について

街の風格や交通の利便性、自然、買い物施設には満足している人が多いものの、公共施設や娯楽施設に対しては不満に感じている人が多いようです。

図表1 - 2 たまプラーザに対する満足度:生活環境別(Q1)





### 3) たまプラーザに対する不安・不満・不便さについて

電車の混雑を不満に感じている人が約6割、図書館や宿泊施設に対する不満は5割弱、地区センター、娯楽施設にも2割以上の方が不満を感じています。

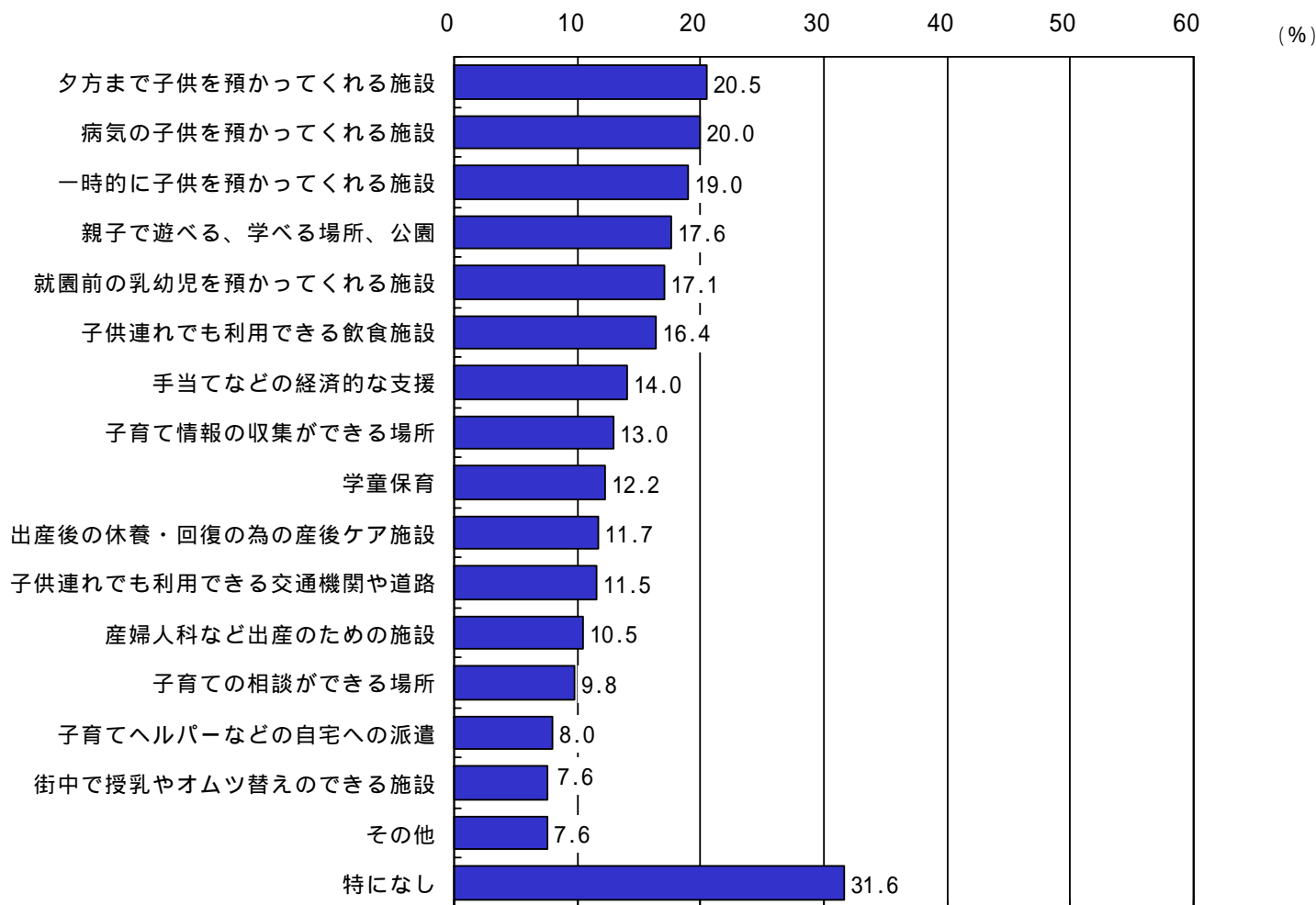
図表1 - 3 たまプラーザに対する不安・不満・不便さ(Q3)



## 4) たまプラーザに充実してほしい子育て施設やサービスについて

「夕方まで子供を預かってくれる」「病気の子供を預かってくれる」など、「子供を預かってくれる施設」が充実して欲しいと望んでいる人が多いようです。

図表1 - 4 たまプラーザに充実してほしい子育て施設やサービス(Q4)

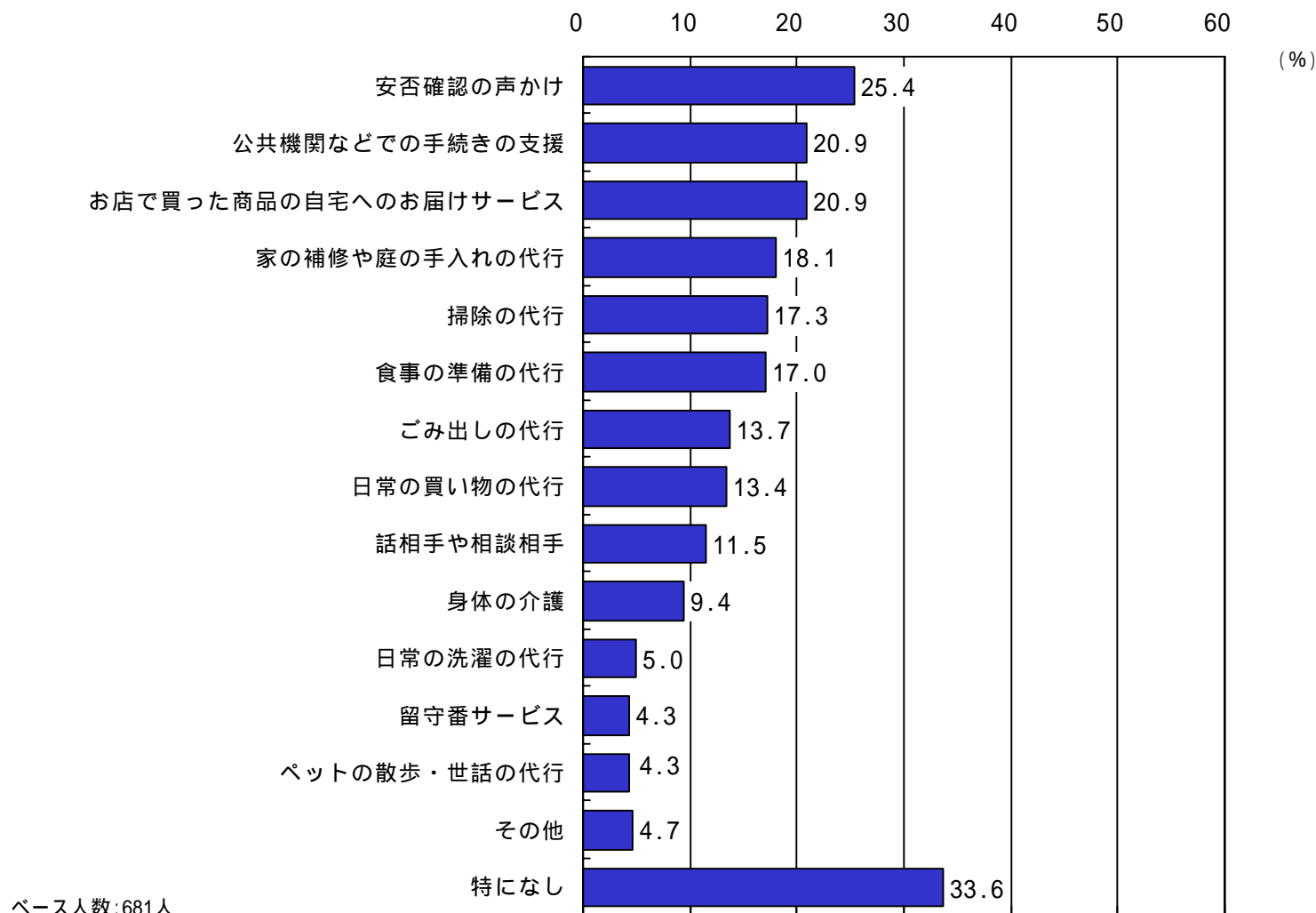


ベース人数:591人

## 5) たまプラーザに充実してほしい高齢者施設やサービスについて

「安否確認の声かけ」を望んでいる人が最も多く、「公共機関などでの手続き支援」や、「購入商品のお届け」「各種家事代行」もそれぞれ1割以上の方が望んでいます。

図表1 - 5 たまプラーザに充実してほしい高齢者施設やサービス(Q5)



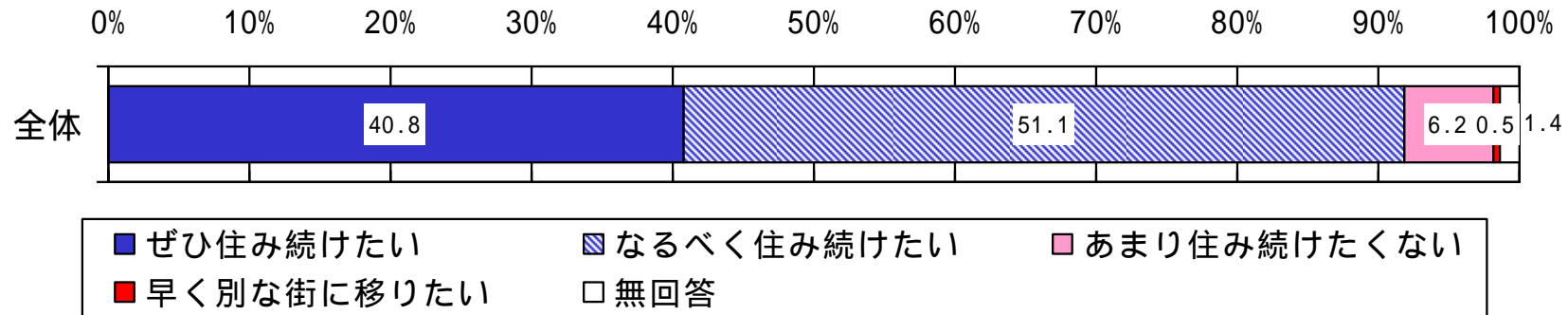
ベース人数: 681人

## 6) 定住意向について

たまプラーザの街に今後も住みたい人は9割以上と定住意向は高めですが、そのうち3分の1は現在の住まいにこだわっていないようです。

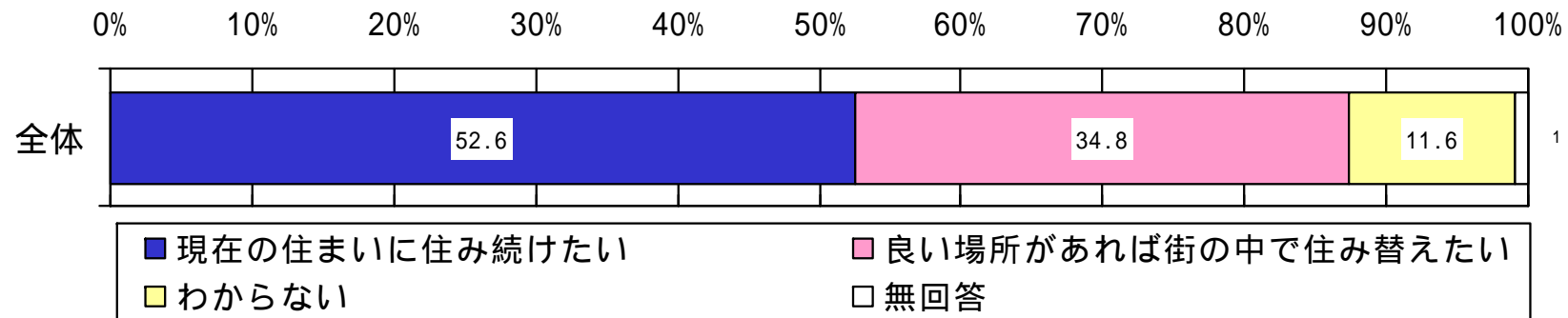
図表1 - 6 定住意向

### 1) たまプラーザでの定住意向(Q6)



ベース人数: 1358人

### 2) 現在の住まいの今後の居住意向(Q7): たまプラーザに住み続けたい人対象

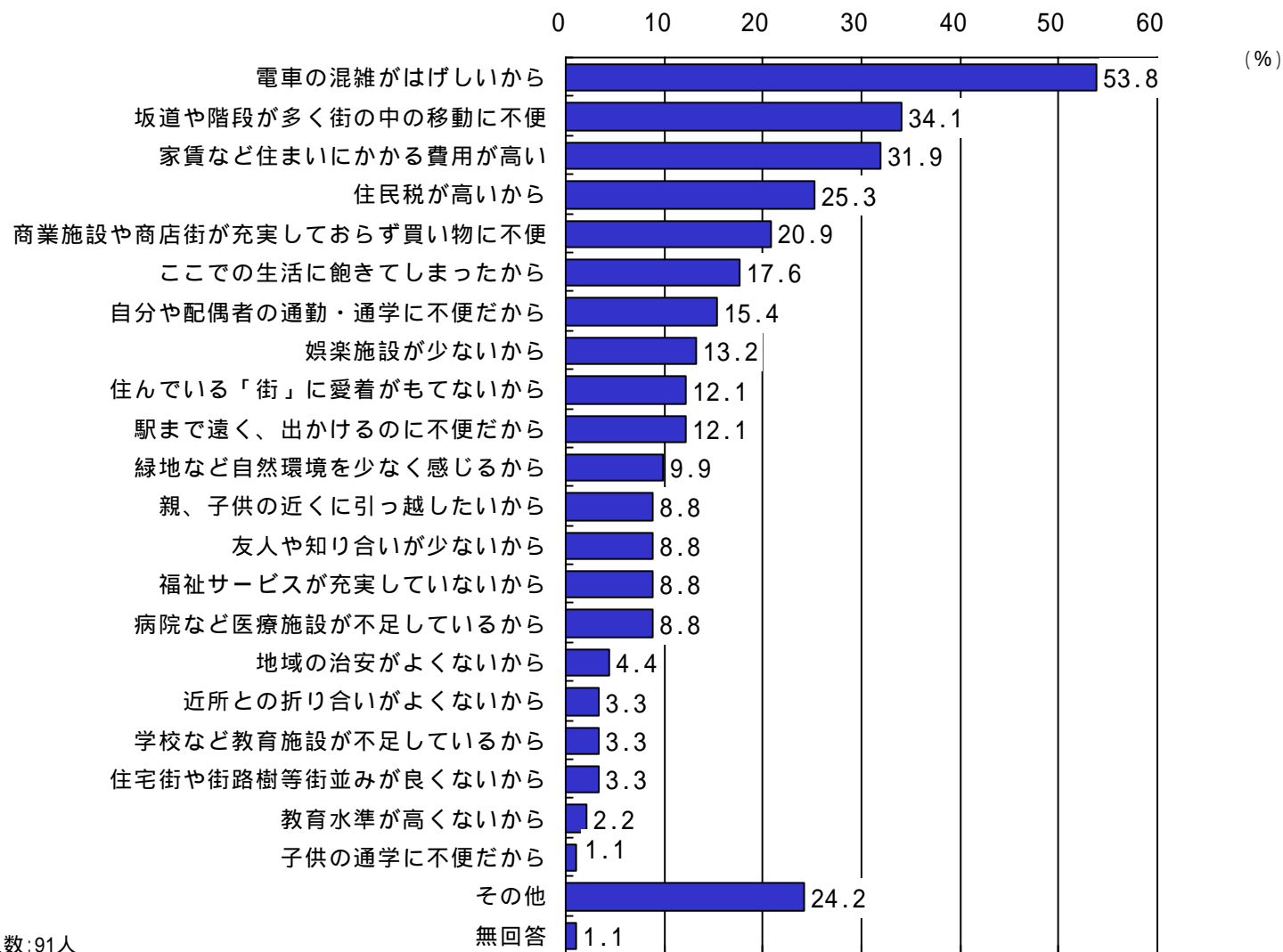


ベース人数: 1248人

# 定住意向：住み続けたくない理由について

たまプラーザの街に住み続けたくない理由としては、「電車の混雑」が最も多く、次に「坂道や階段が多く街の中の移動に不便」という点が挙がっています。

図表1 - 7 たまプラーザに住み続けたくない理由(Q8)



ベース人数:91人



## 2 . 地域とのつながり・交流・街づくり に関する実態とニーズ

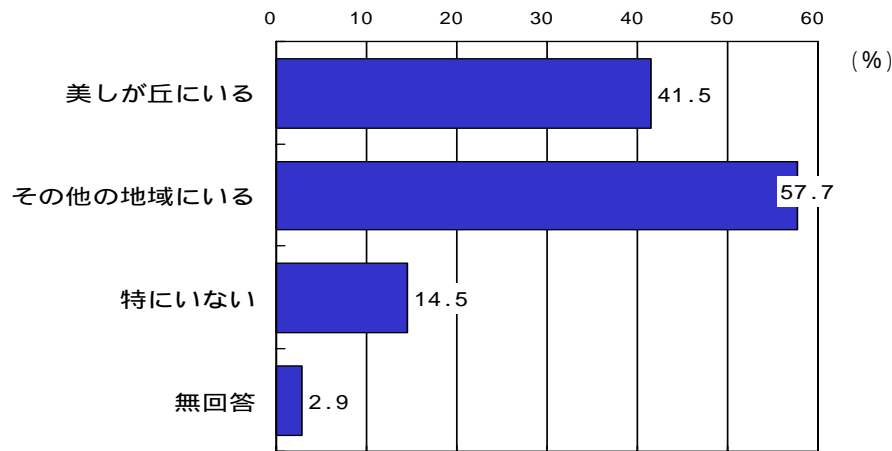


# 1) 知人や友人の存在について

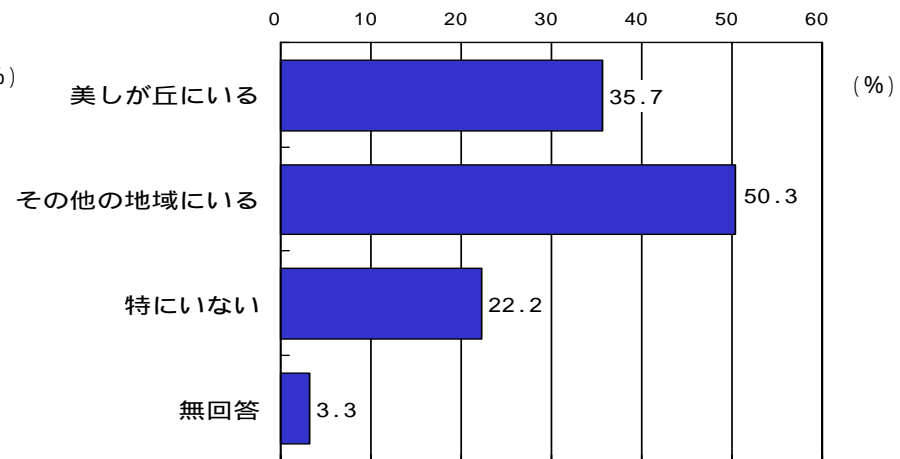
「困ったときに助けを頼める人」「必要なときに情報・助言をくれる人」「悩んでいることを話せる」友人や知人が美しが丘にいる人は3～4割、一方で、そのような友人のいない人が約2割を占めています。

図表2 - 1 知人や友人の存在(Q9)

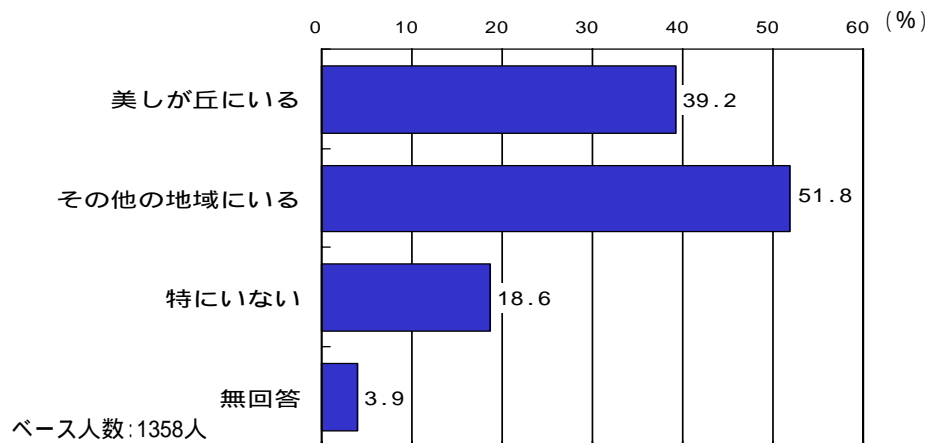
## 1) 一緒に遊ぶ・楽しく過ごせる人



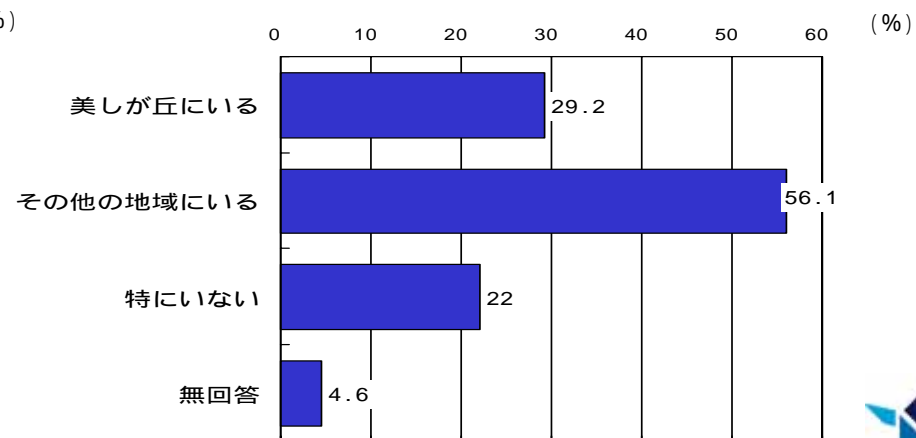
## 2) 困ったときに助けや手伝いを頼める人



## 3) 必要なときに情報をくれたり助言をくれる人



## 4) 悩んでいることや、気持ちや考えを話せる人

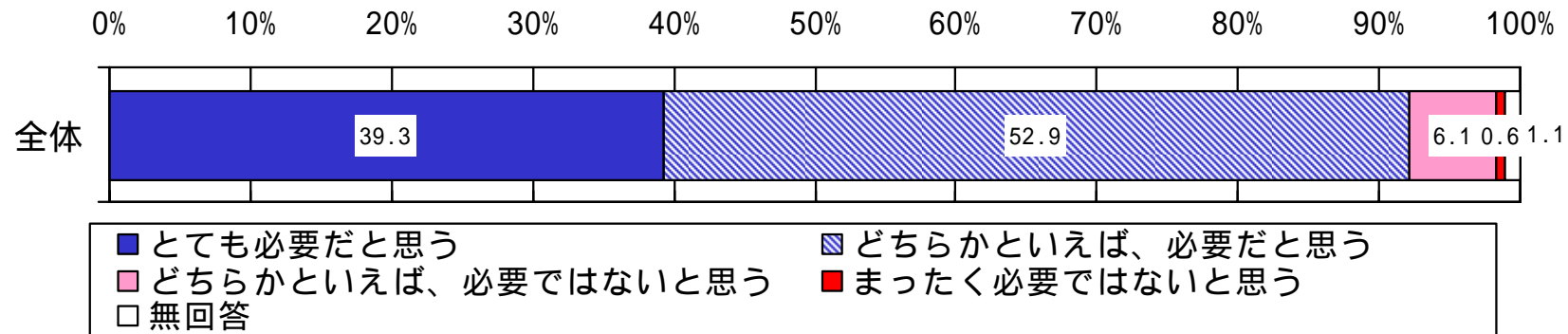


## 2) 地域のつながりニーズと現状について

「地域のつながり」を「とても必要」と感じる人が4割、「どちらかといえば必要」を含めると9割以上が必要と感じています。  
 一方、現状「地域とのつながりがある」と感じている人は半数程度です。

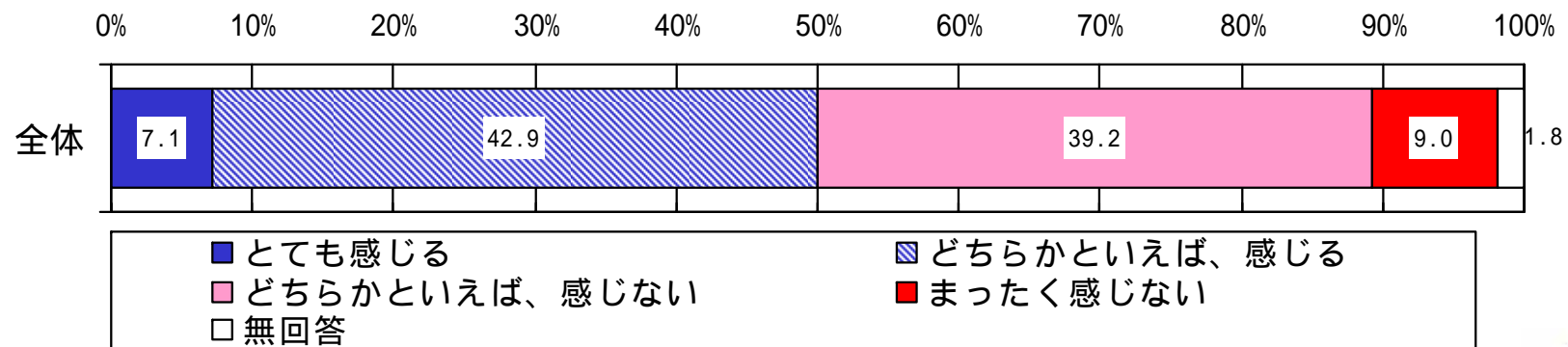
図表2 - 2 地域のつながりニーズと現状

### 1) 地域のつながりを必要と感じるか(Q10)



ベース人数: 1358人

### 2) 住まいの地域に地域とのつながりがあると感じるか(Q11)



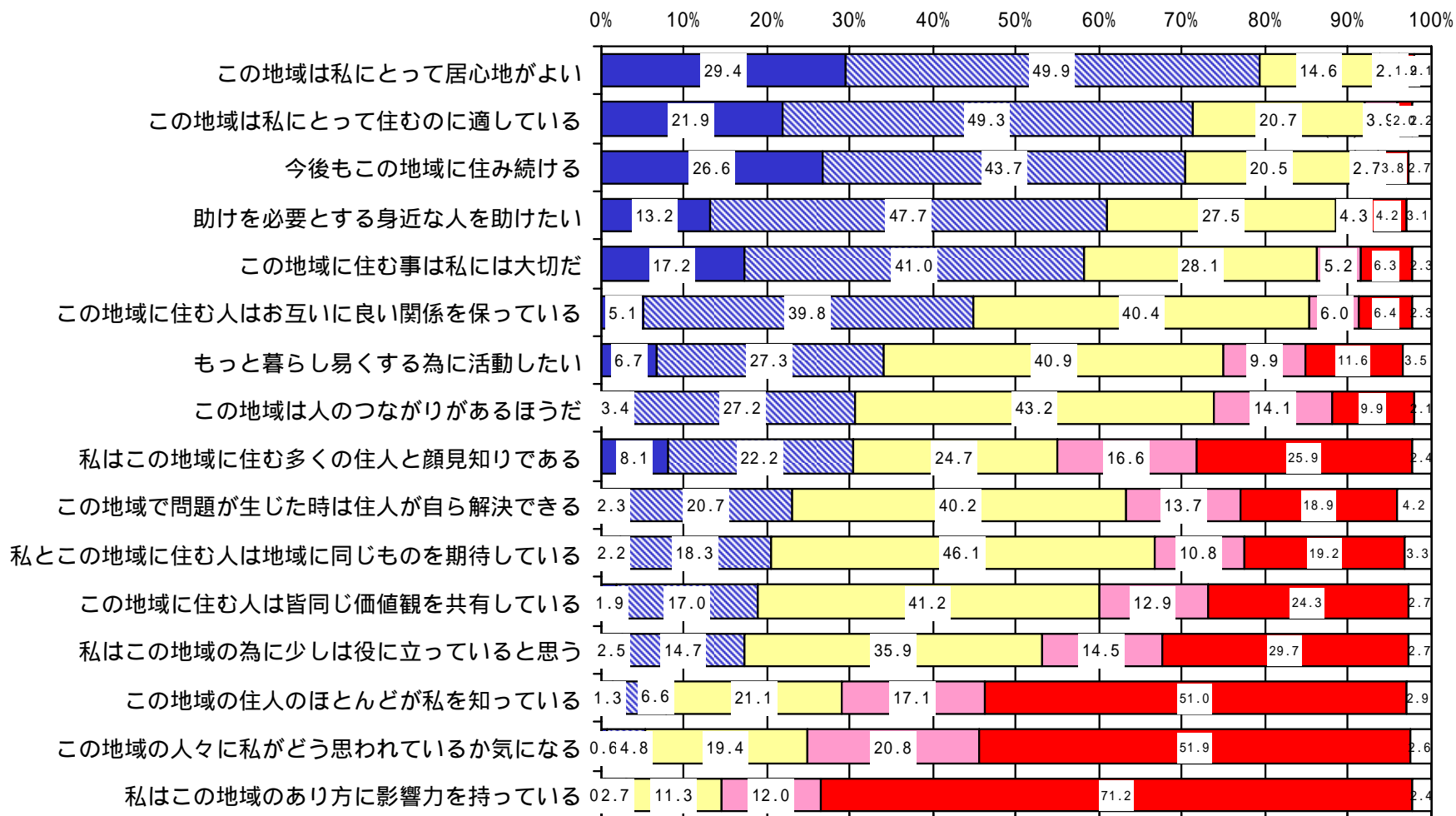
ベース人数: 1358人



### 3) 地域とのつながりに対する考えについて

たまプラーザの街に対して、居心地のよさや愛着を感じる人が多いほか、「助けを必要とする身近な人を助けたい」という意識を持つ人も多いようです。

図表2 - 3 地域とのつながりに対する考え (Q12)



■ そう思う     
 ▨ どちらかといえばそう思う     
 ■ どちらともいえない  
■ どちらかといえばそう思わない     
 ■ そうは思わない     
 □ 無回答

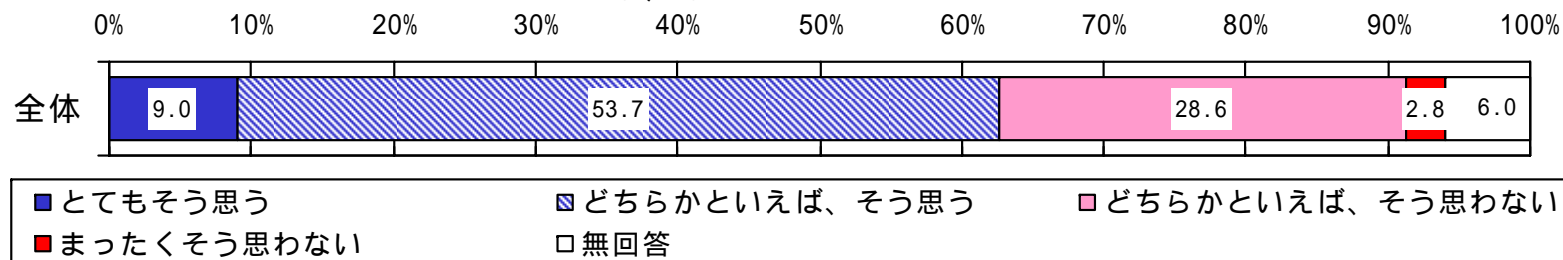
## 4) 地域での交流機会ニーズについて

地域で交流する機会については、「どちらかといえば」を含めれば6割以上が「交流する機会があればよい」と考えています。

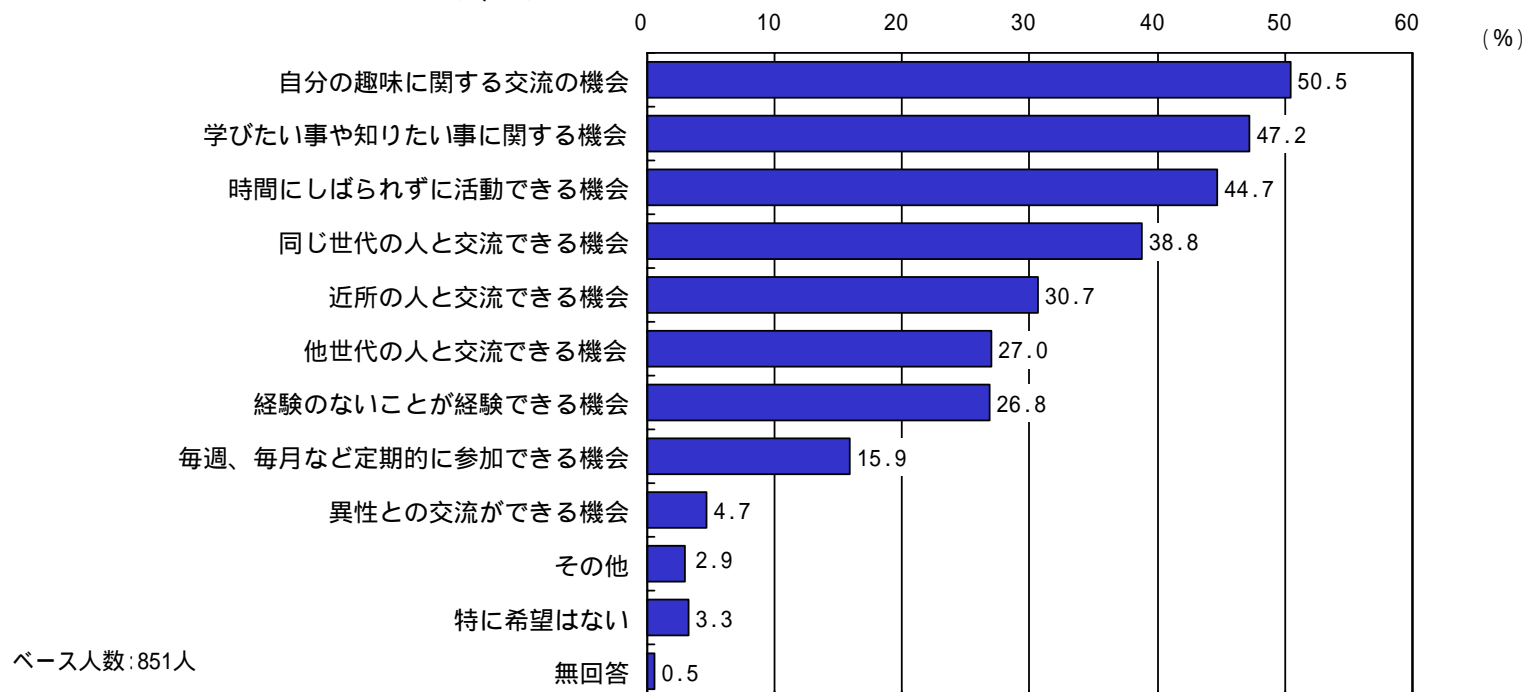
交流や活動の機会としては、自分の趣味や関心事に関する要望が高いといえます。

図表2 - 4 地域での交流機会ニーズ

1) 地域で、いろいろな人と交流する機会があればよい(Q13)



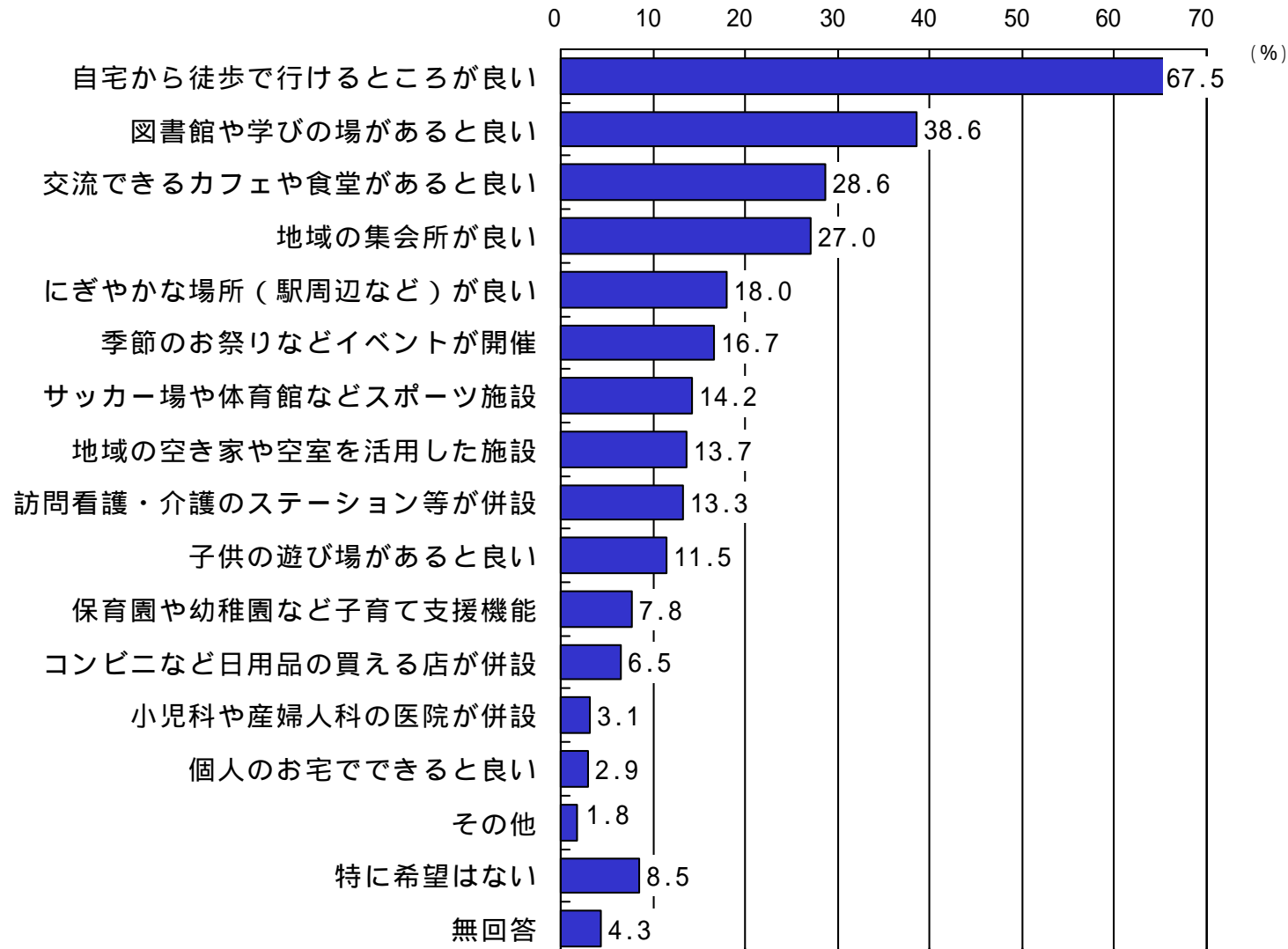
2) あればよいと思う交流や活動の機会(Q14)



# 地域での交流機会ニーズについて

交流・活動する場所や施設については「自宅から徒歩でいけるところが良い」との回答が7割近いほか、「学びの場があると良い」という要望も高めです。

図表2 - 5 交流・活動する場所や施設の希望(Q15)

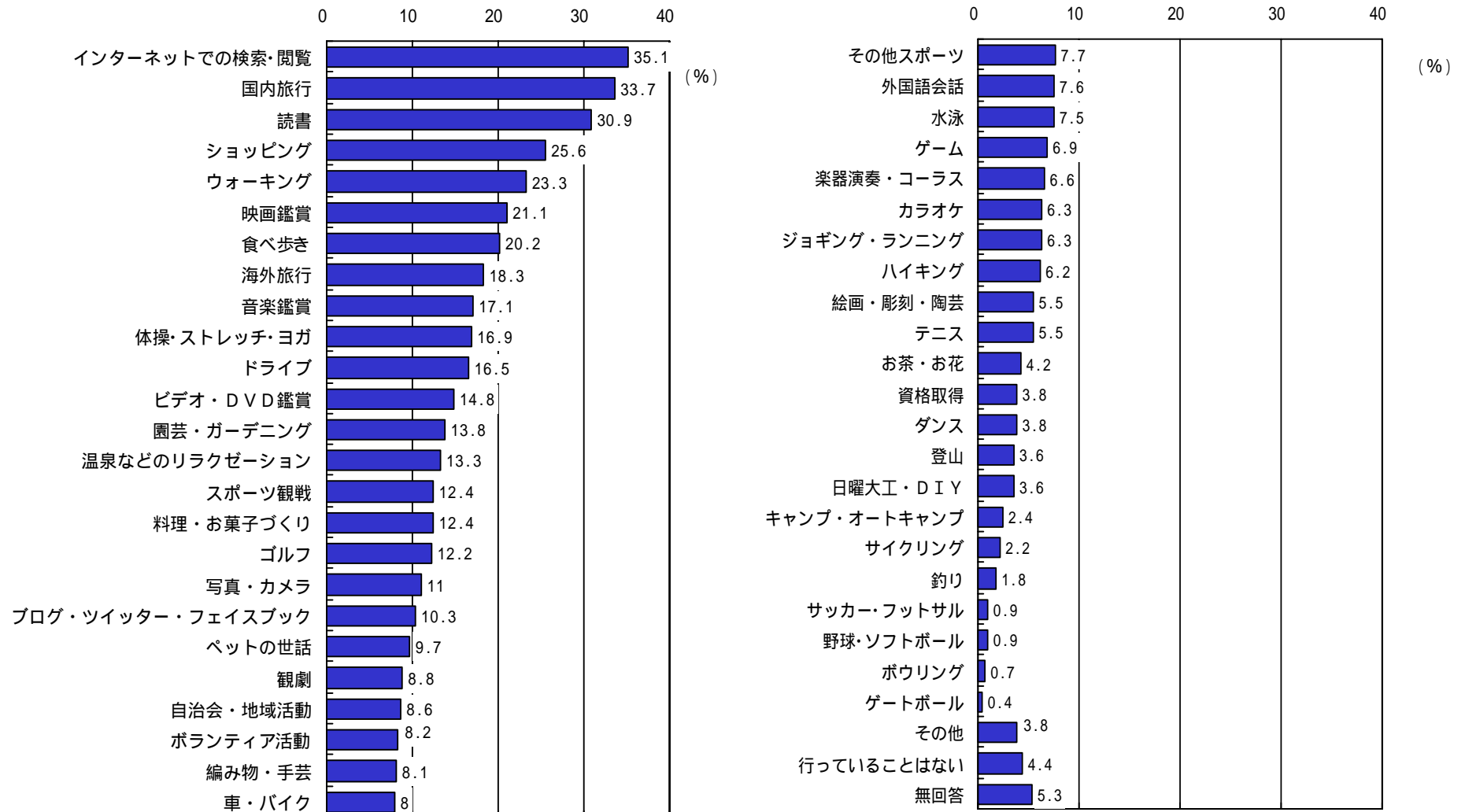


ベース人数:1358人

## 5) 趣味・余暇活動について

趣味・余暇活動では「インターネットでの検索・閲覧」が最も多く、「国内旅行」「読書」「ショッピング」「ウォーキング」と続きます。

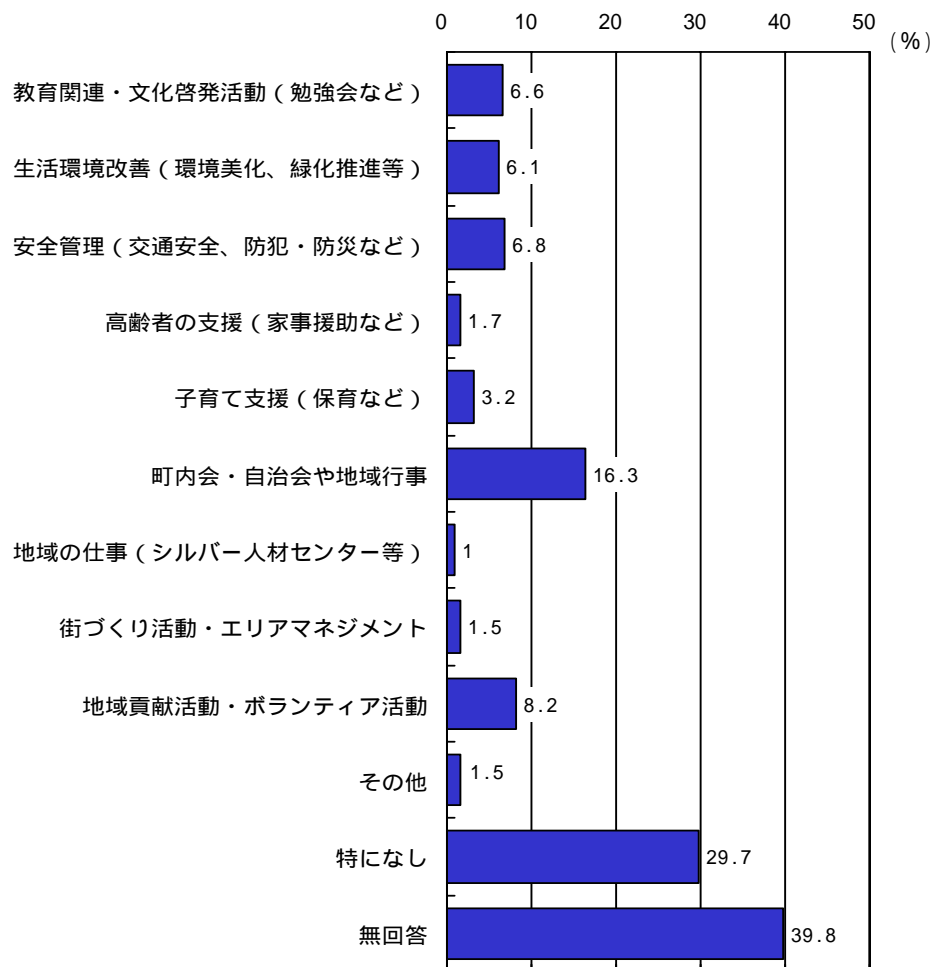
図表2 - 6 定期的に行っている趣味や余暇活動(Q16)



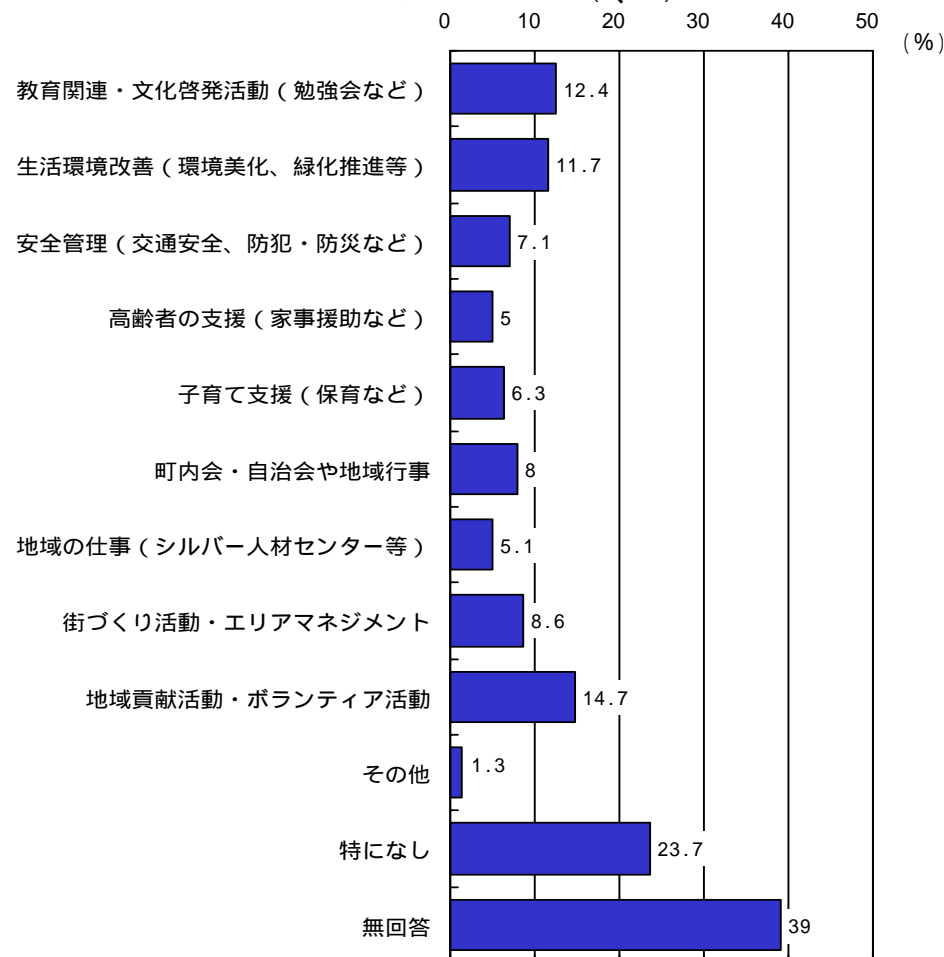
## 6) 参加している活動・今後参加したい活動について

現在は「町内会・自治会」への参加が最も多いですが、今後は「地域貢献ボランティア活動」や「教育関連・文化啓発活動」「生活環境改善活動」に参加したいと思っている人がそれぞれ1割以上みられます。

図表2 - 7 現在参加している活動(Q17)



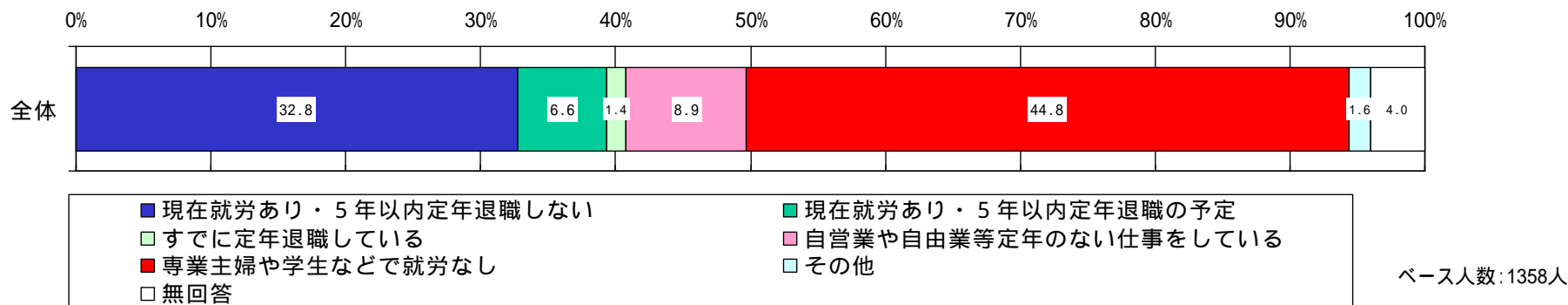
図表2 - 8 今後参加したい活動(Q18)



# 7)現在の就業状況・定年退職後の就労意向について

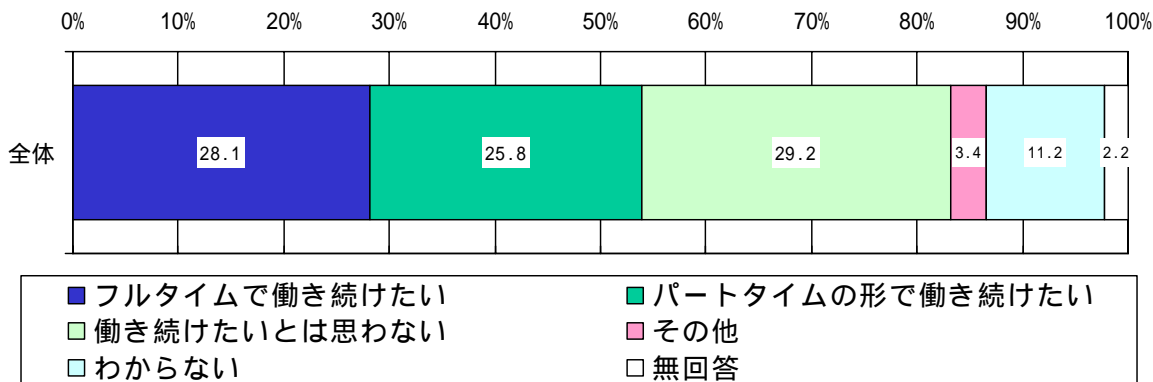
5年以内に定年退職をむかえる人は7%、その中で退職後も働きたい人は半数以上となっています。働きたい理由は「健康維持のため」が多く見られます。

図表2 - 9 現在の就業状況 (Q19)

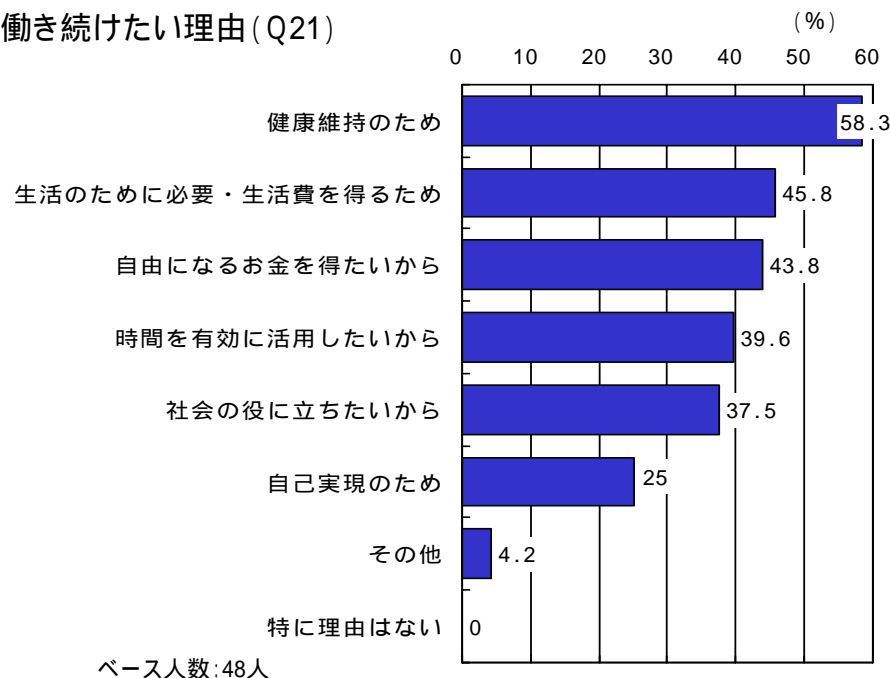


図表2 - 10 定年退職後の就労意向

## 1) 就労意向 (Q20)



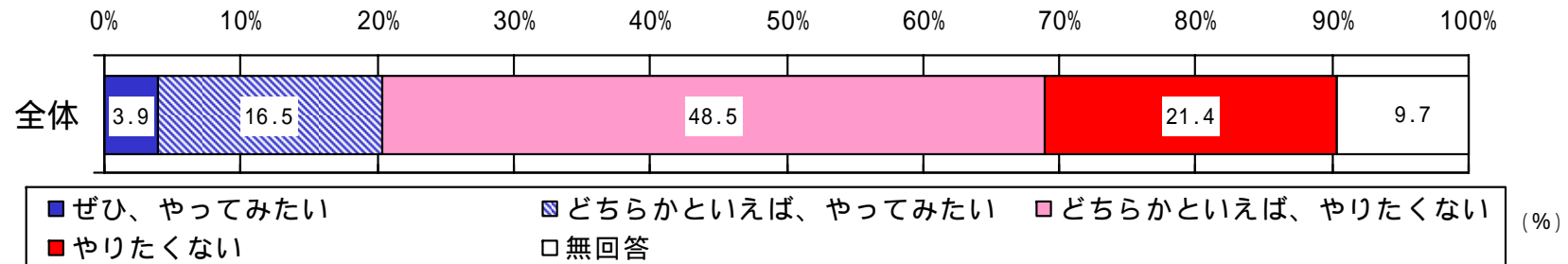
## 2) 働きたい理由 (Q21)



## 8) 街づくりの担い手となる意向について

街づくりの担い手を、「ぜひやってみたい」人は4%、「どちらかといえば」も含めると2割の人が街づくりの担い手をやってみたいと答えています。

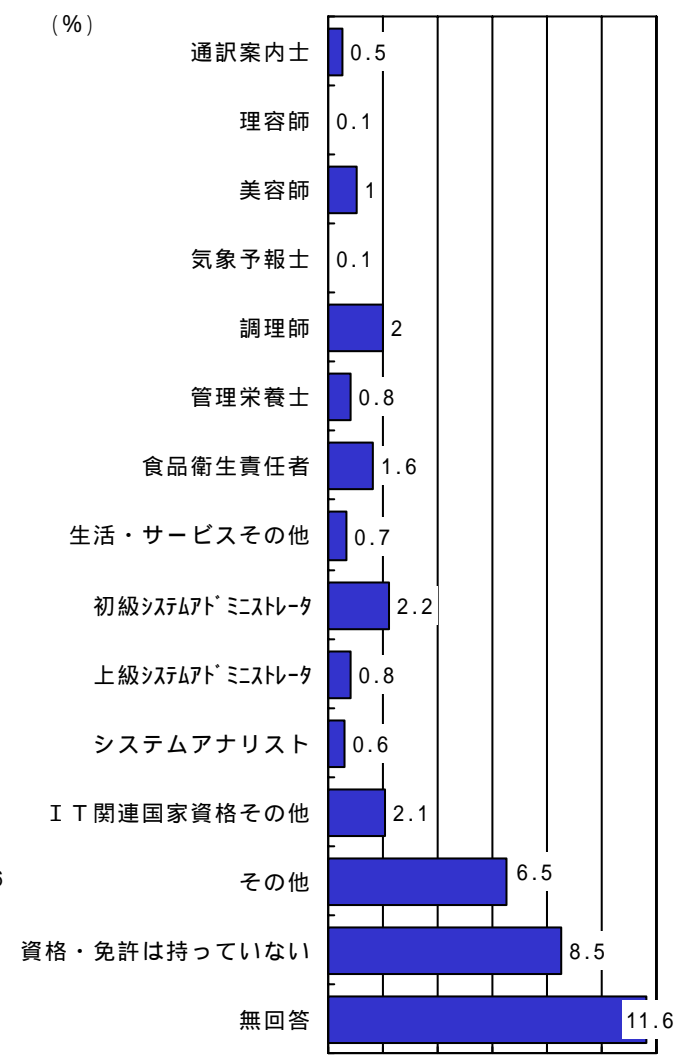
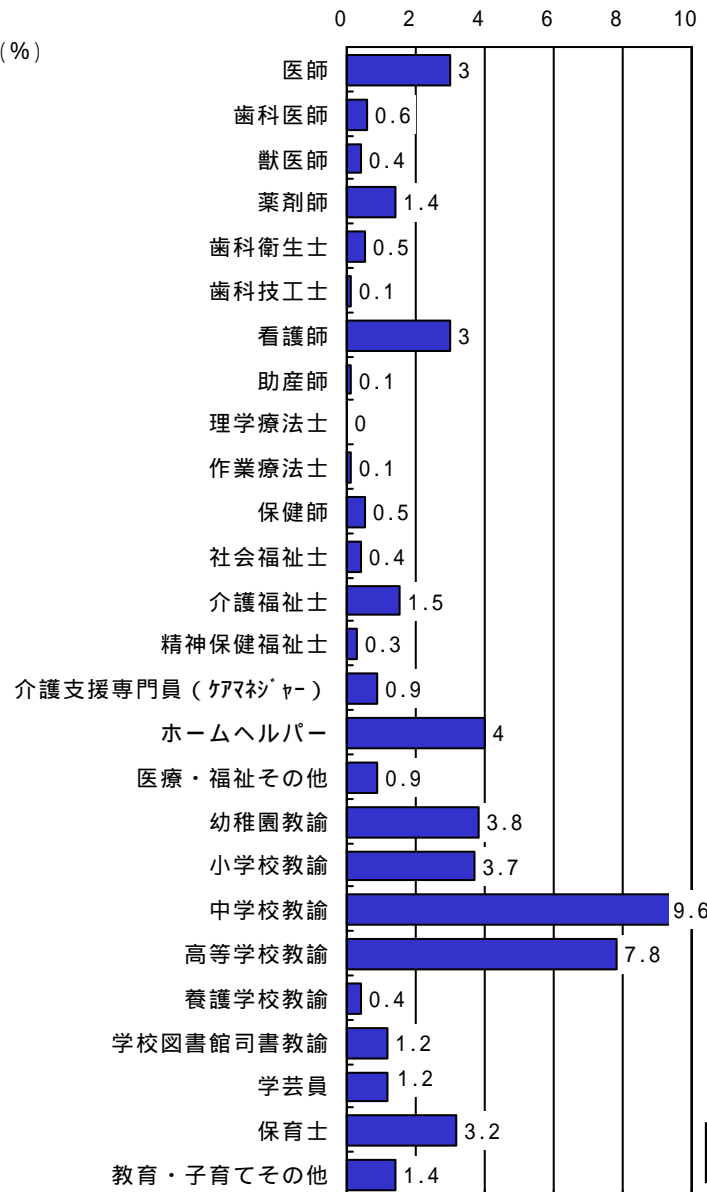
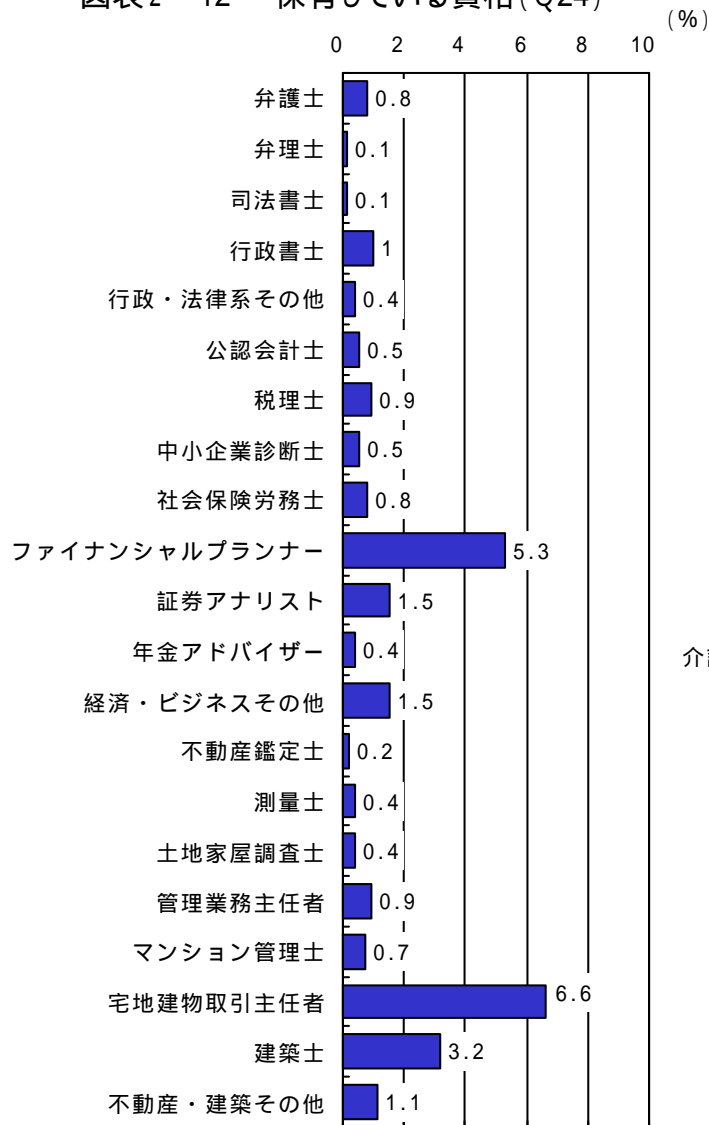
図表2 - 11 街づくりの担い手となる意向(Q22)



# 9) 保有している資格について

「中学教諭」「高校教諭」「宅建」「ファイナンシャルプランナー」のほか「医師」「看護師」「ホームヘルパー」「保育士」などの資格を持っている人が多いようです。

図表2 - 12 保有している資格(Q24)



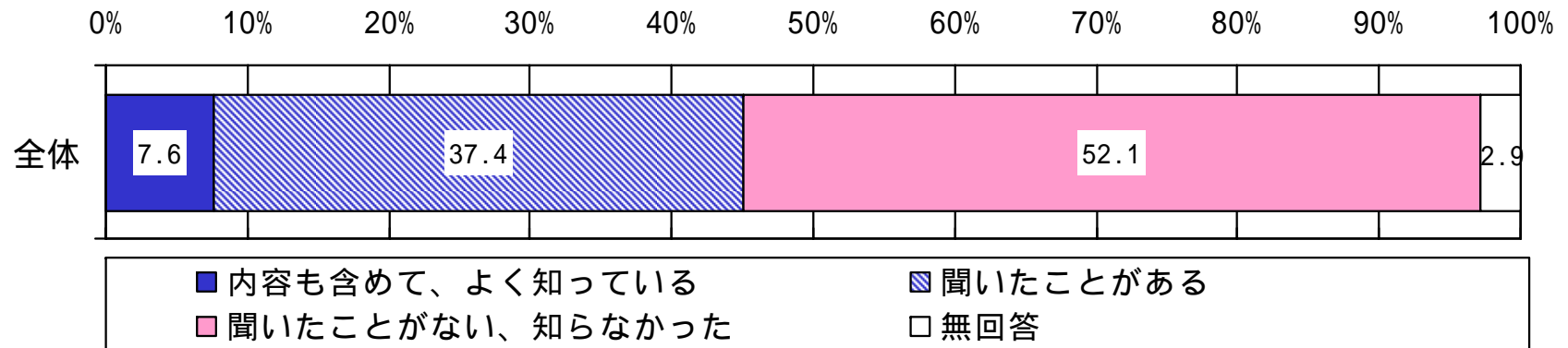
「各種運転免許」63%



# 10) 「郊外住宅地の再生型まちづくり」の取り組みの認知について

「郊外住宅地の再生型まちづくり」の取り組みを知っている人は45%と半数近い割合でした。

図表2 - 13 「郊外住宅地の再生型まちづくり」の取り組みの認知(Q41)



ベース人数:1358人



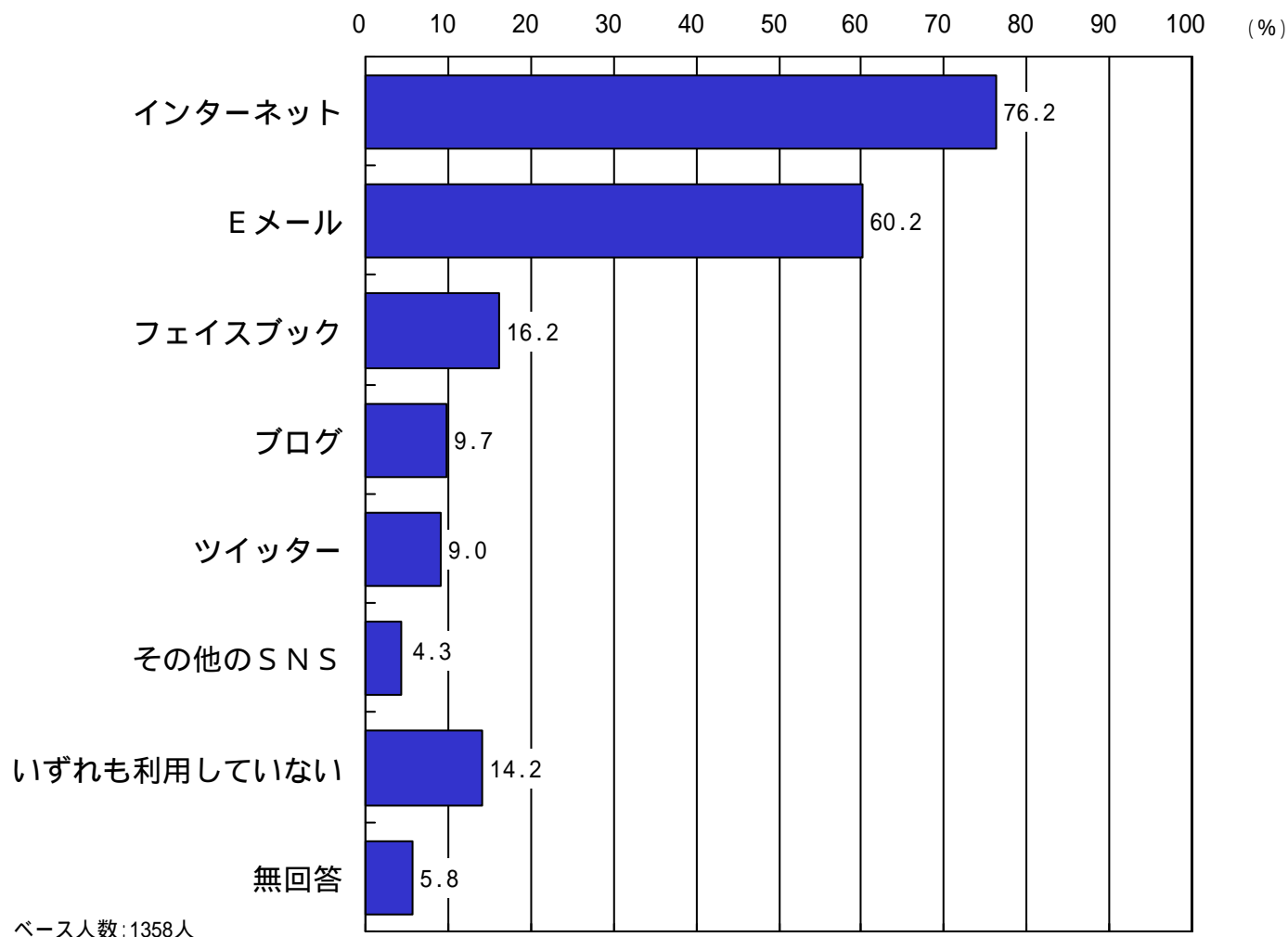
### 3 . 情報・移動・環境に関する実態とニーズ



# 1) 利用しているコミュニケーションツールについて

コミュニケーションツールとしては「インターネット」を76%、「Eメール」を60%、「フェイスブック」を16%の人が利用していることがわかりました。

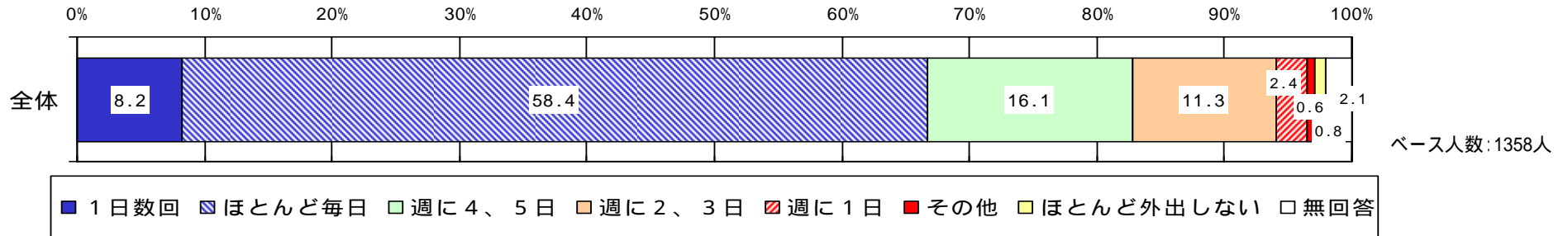
図表3 - 1 利用しているコミュニケーションツール(Q25)



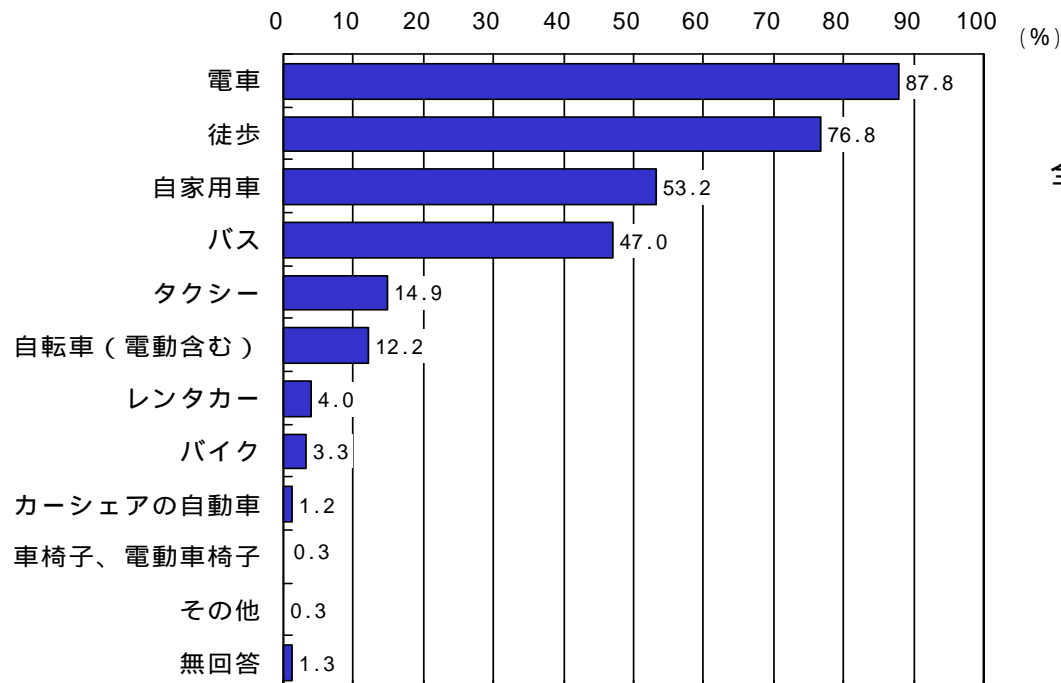
## 2) 外出頻度・移動手段について

7割近くの方がほとんど毎日外出していますが、週に2、3日またはそれ以下という人も2割近くみられます。移動手段としては電車、徒歩が多いようです。

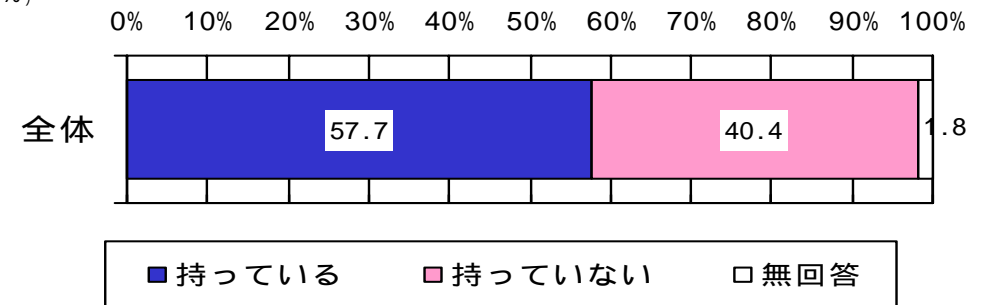
図表3 - 2 外出頻度(Q26)



図表3 - 3 移動手段(Q28)



図表3 - 4 自家用車の保有(Q27)

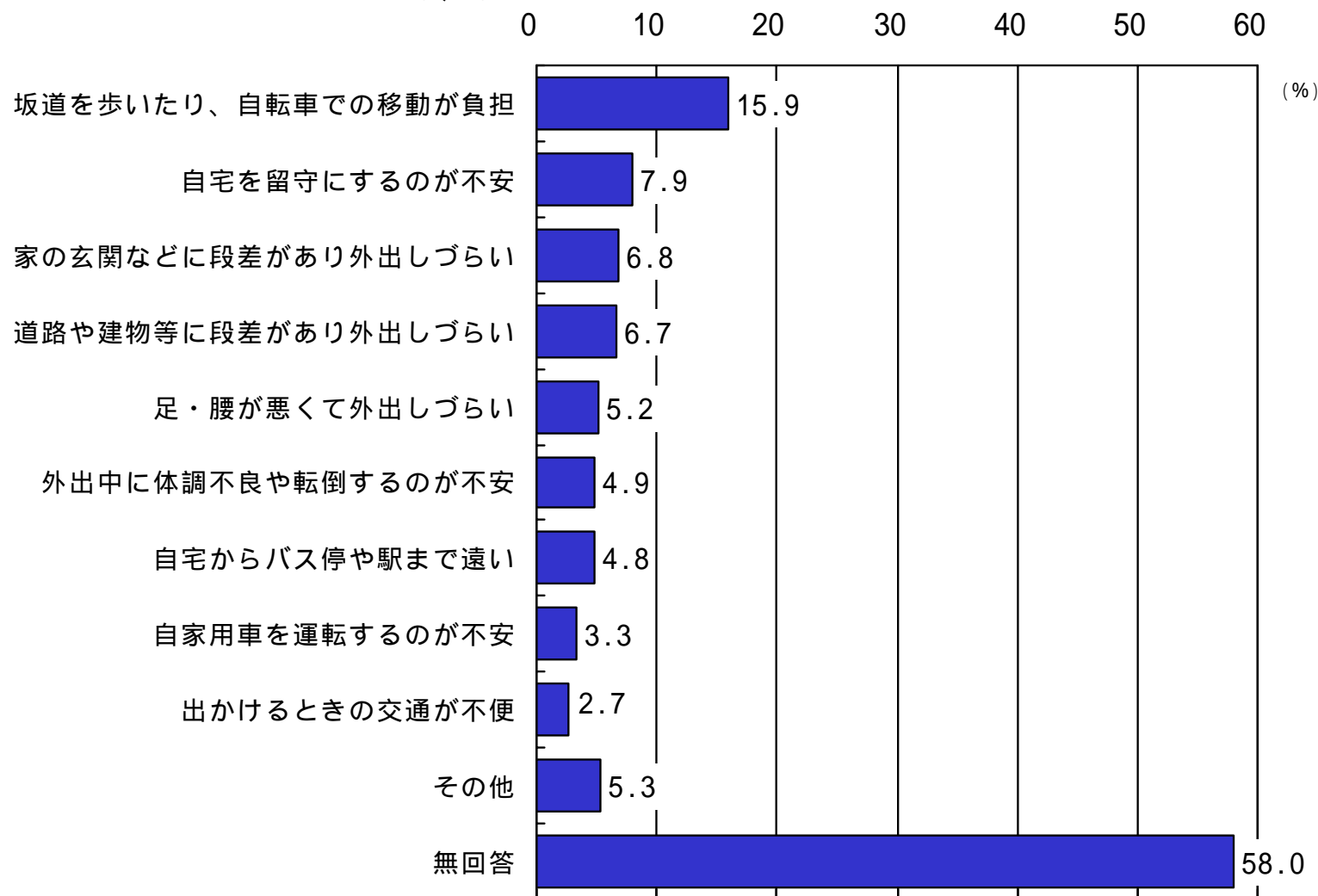


ベース人数:1358人

### 3) 外出時の不安・不便さについて

外出時に「坂道を歩いたり、自転車での移動が負担」という人が16%のほか、自宅や道路・建物の段差を不安に挙げる人もそれぞれ7%みられます。

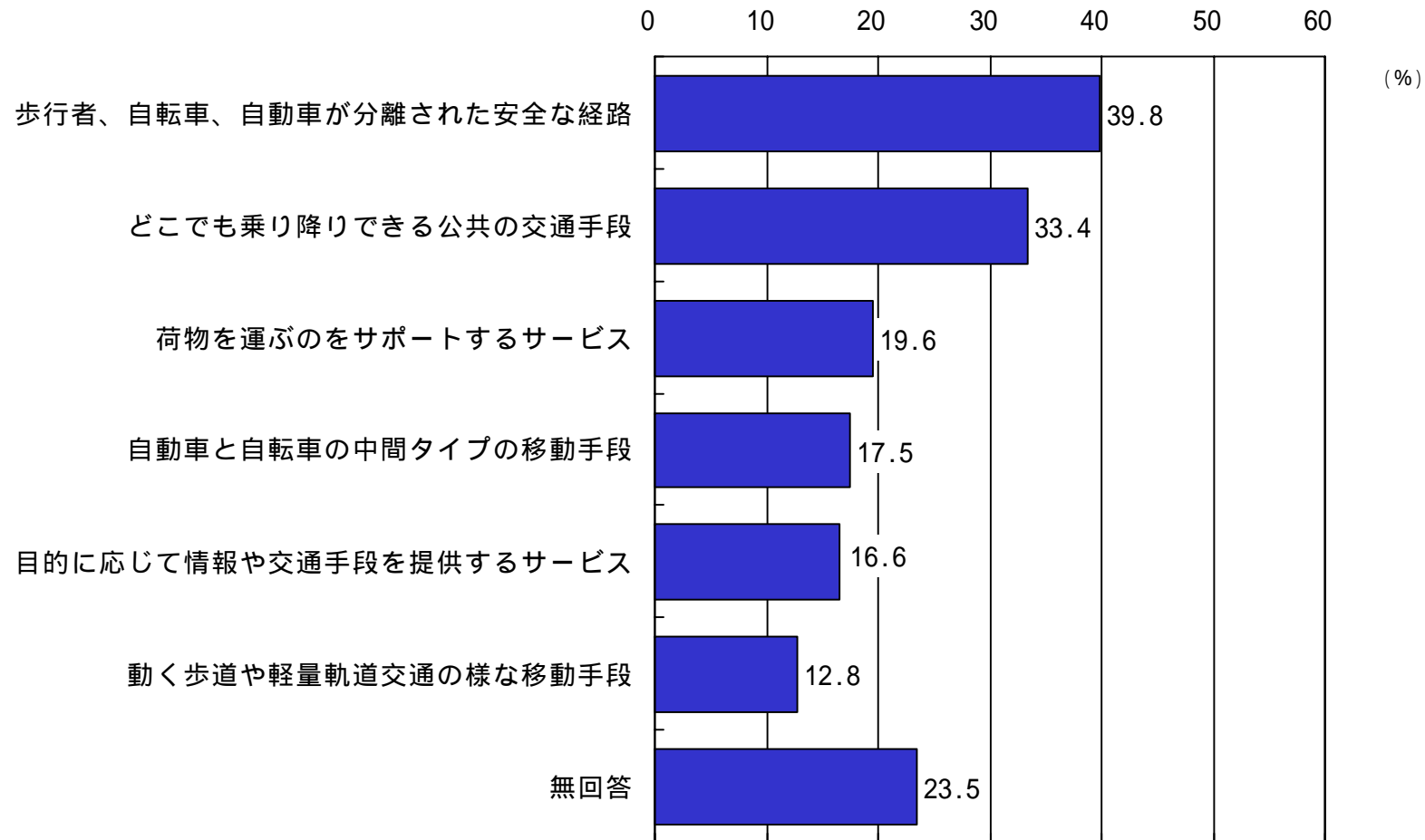
図表3 - 5 外出時の不安・不便さ(Q29)



## 4) 移動(モビリティ)に対するニーズについて

「歩行者、自転車、自動車が完全に分離の安全な経路」や、「どこでも乗り降りできる公共交通手段」に対する要望が高いようです。

図表3 - 6 移動(モビリティ)に対するニーズ(Q30)

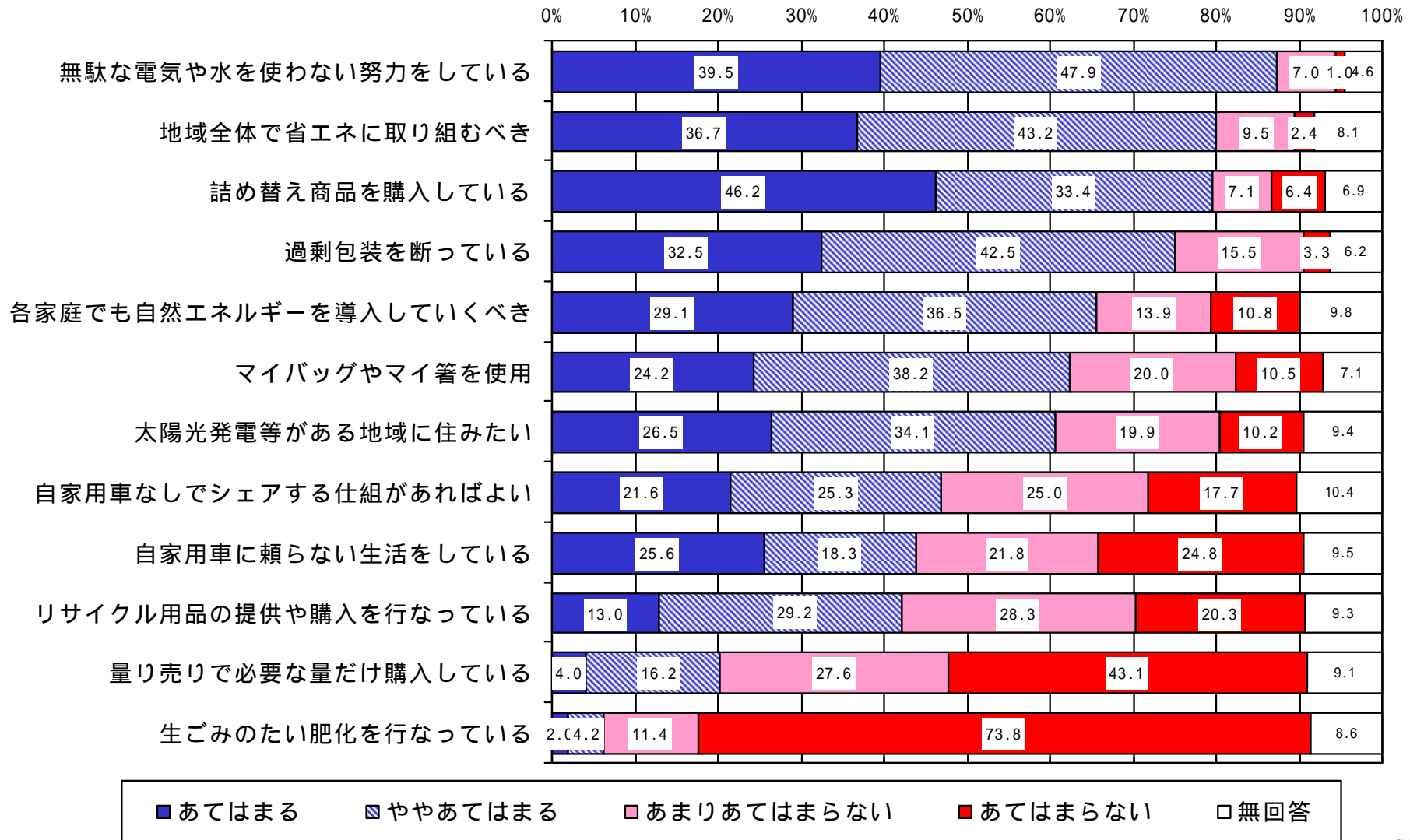


ベース人数: 1358人

## 5) 環境・エネルギーに対する意識について

自分自身で努力や心がけを行なっている人が目立つほか、「地域全体で省エネに取り組むべき」と感じている人も8割を占めています。

図表3 - 7 環境・エネルギーに対する意識(Q31)





## 4 . 住まいに関する実態とニーズ

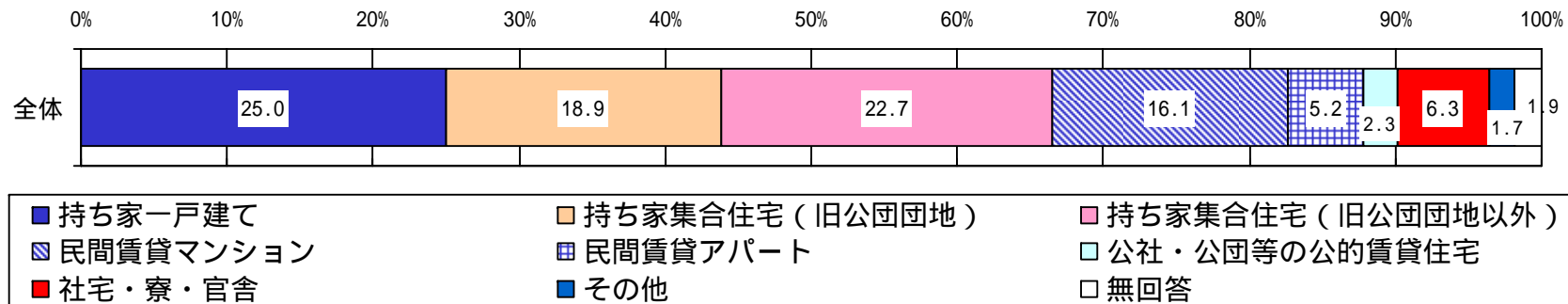




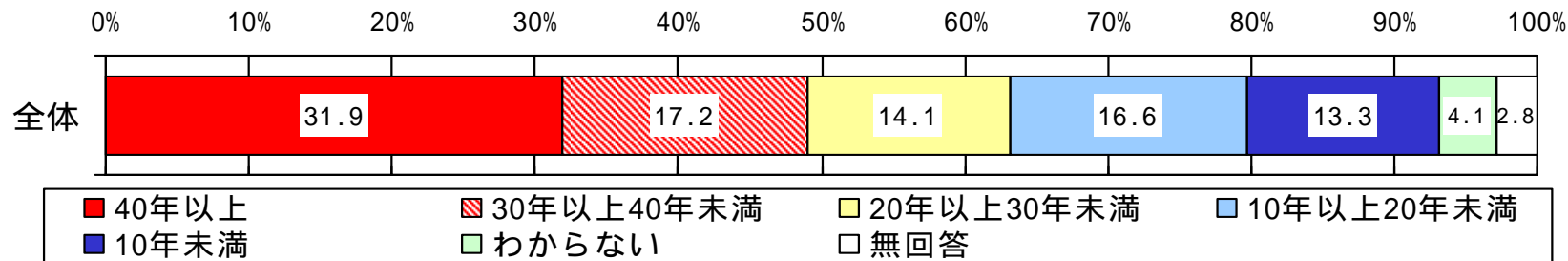
# 1) 住居形態・築年数・居住年数について

住宅の築年数40年以上が3割、築30年以上と合わせると半数近くにのぼります。  
一方、現在の住まいの居住年数は10年未満が4割と比較的短い人が多いようです。

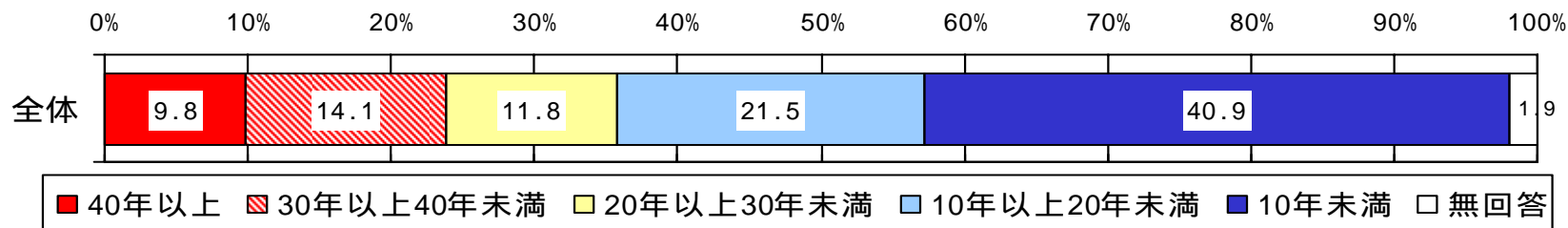
図表4 - 1 住居所有形態 (Q32)



図表4 - 2 住居の築年数 (Q33)

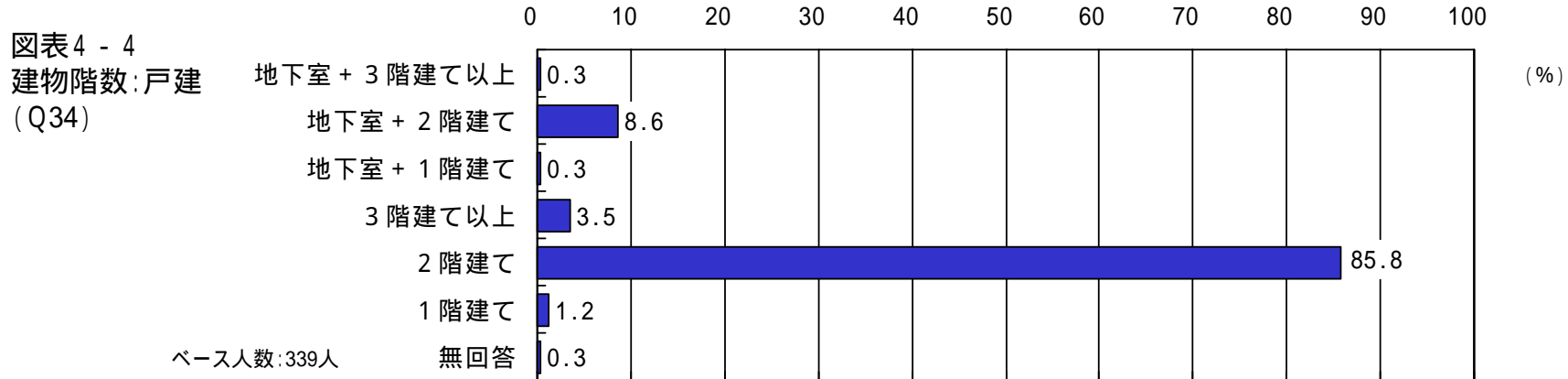


図表4 - 3 居住年数 (Q36)

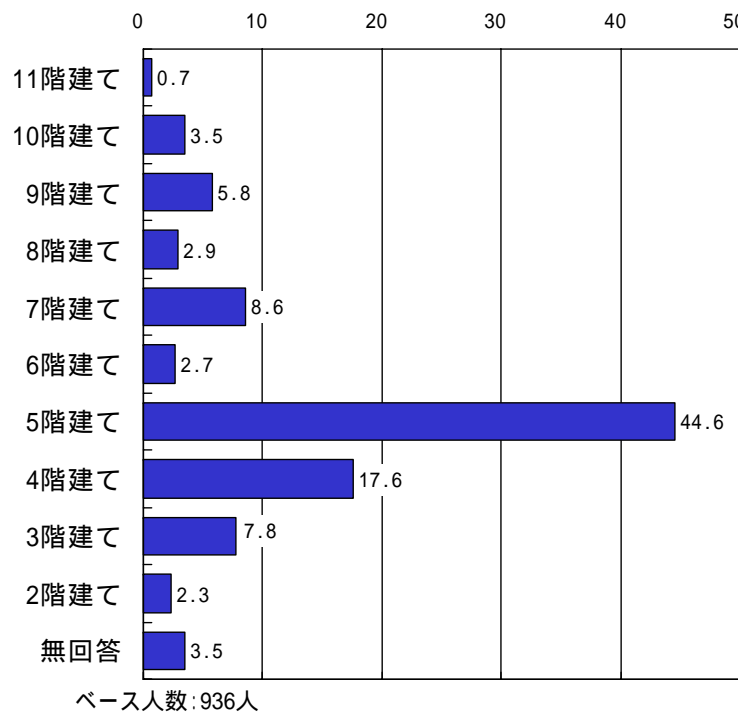


## 2) 建物階数・居住階について

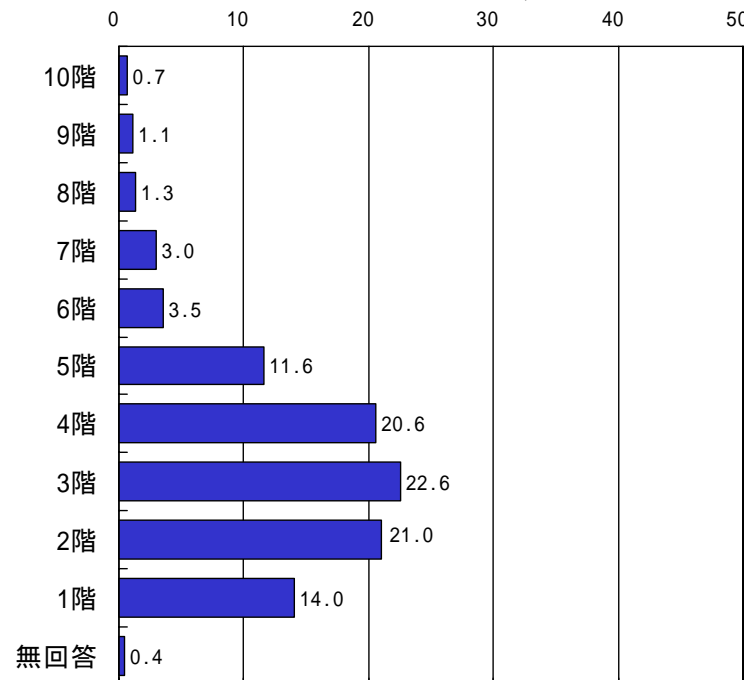
集合住宅では5階建が半数近くと最も多く、4階建以上を合わせると9割近くになりますが、そのうちエレベーターが設置されていない建物が約6割にのぼります。



図表4 - 5 建物階数:集合住宅 (Q35)



図表4 - 6 居住階数:集合住宅 (Q35)



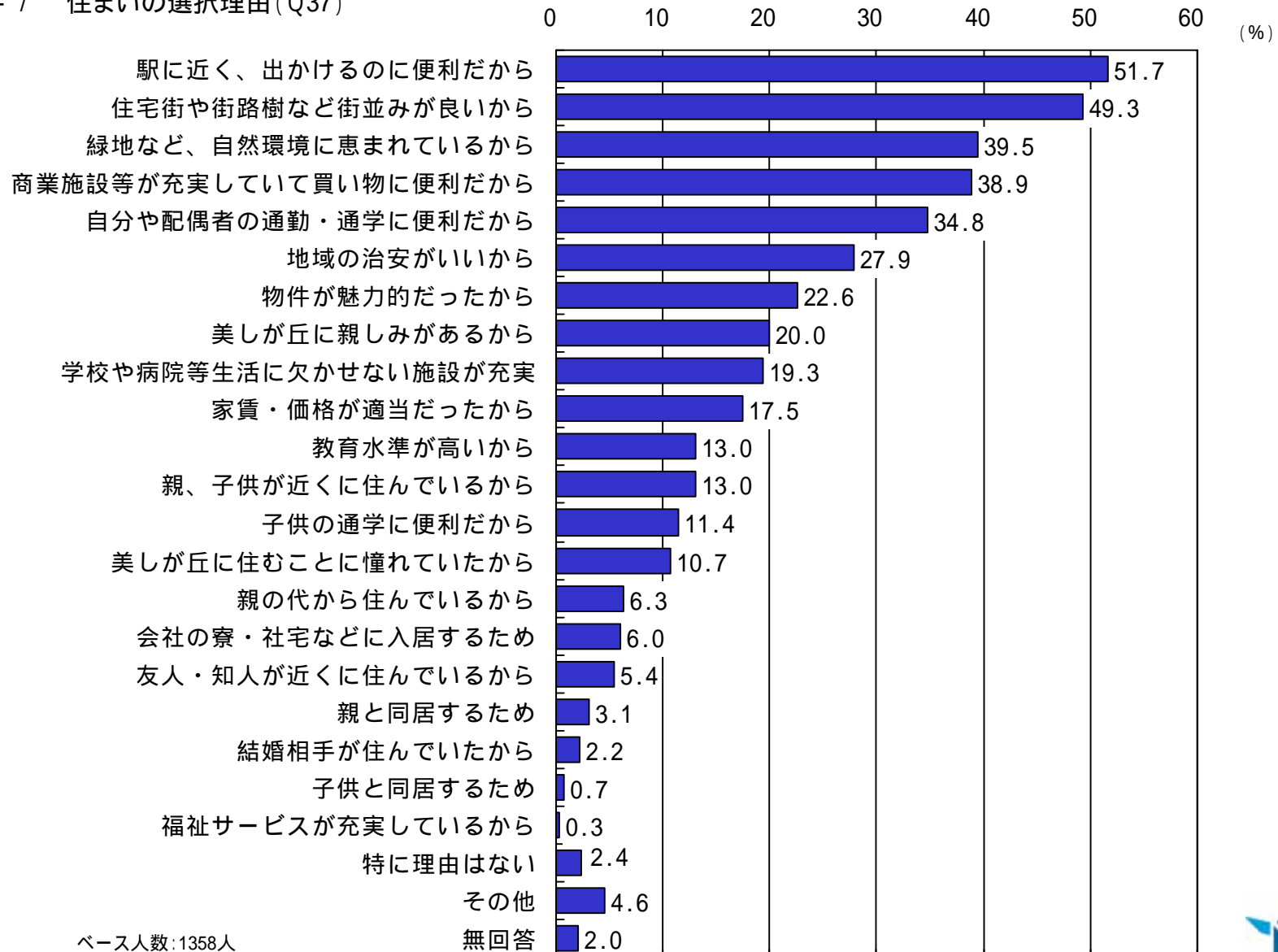
エレベーター  
設置されている  
37.0%  
設置されていない  
59.3%

ベース人数:966人

### 3) 住まいの選択理由について

「駅に近く、出かけるのに便利」という人が52%と最も多く、「街並みが良い」点も半数近くが挙げています。「自然環境」「商業施設の充実」も約4割にのぼります。

図表4 - 7 住まいの選択理由(Q37)

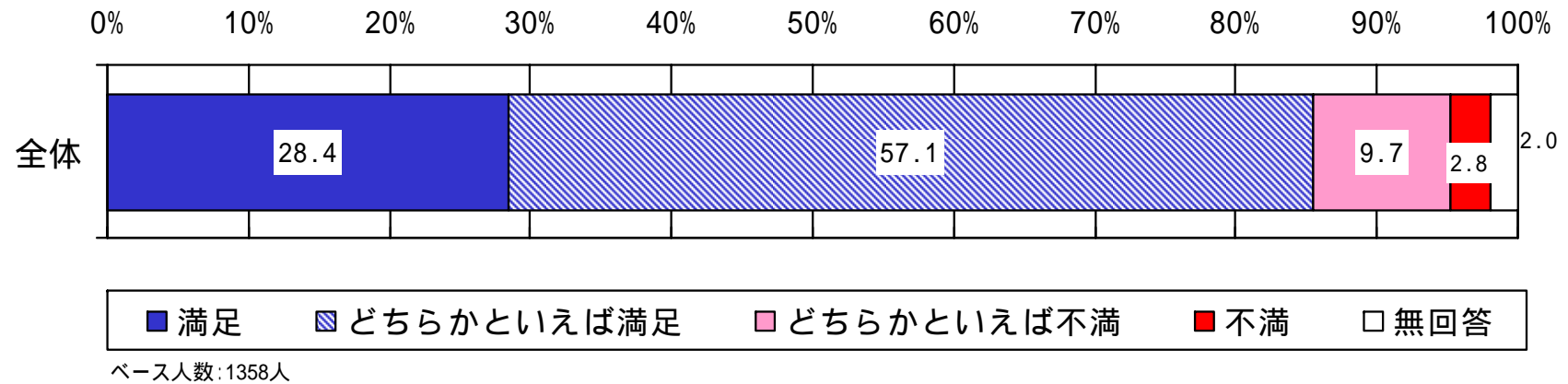


ベース人数:1358人

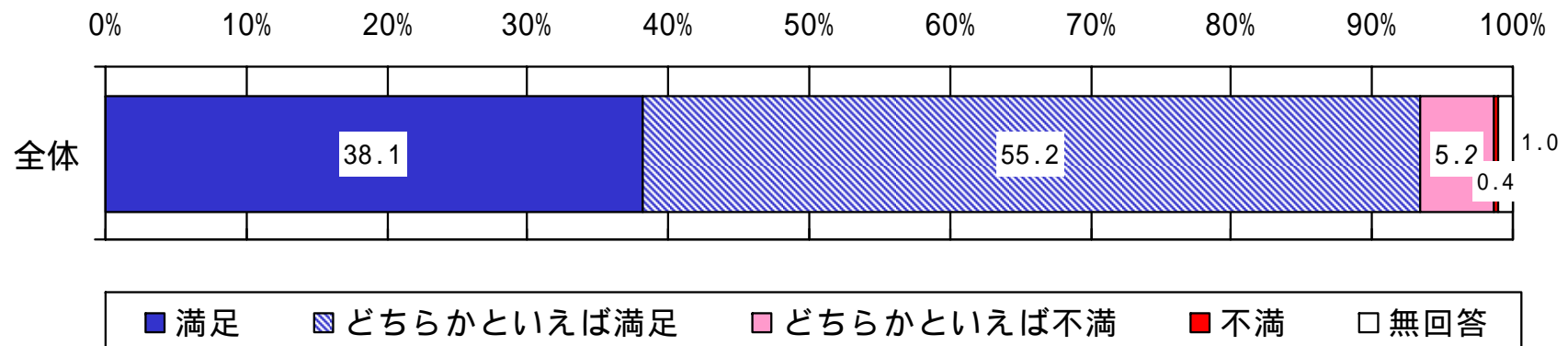
## 4) 住まいに対する満足度について

住まいに対する満足度は「満足」している人が約3割、「どちらかといえば満足」をあわせると85%の人は満足していることがわかりました。

図表4 - 8 住まいに対する満足度 (Q38)



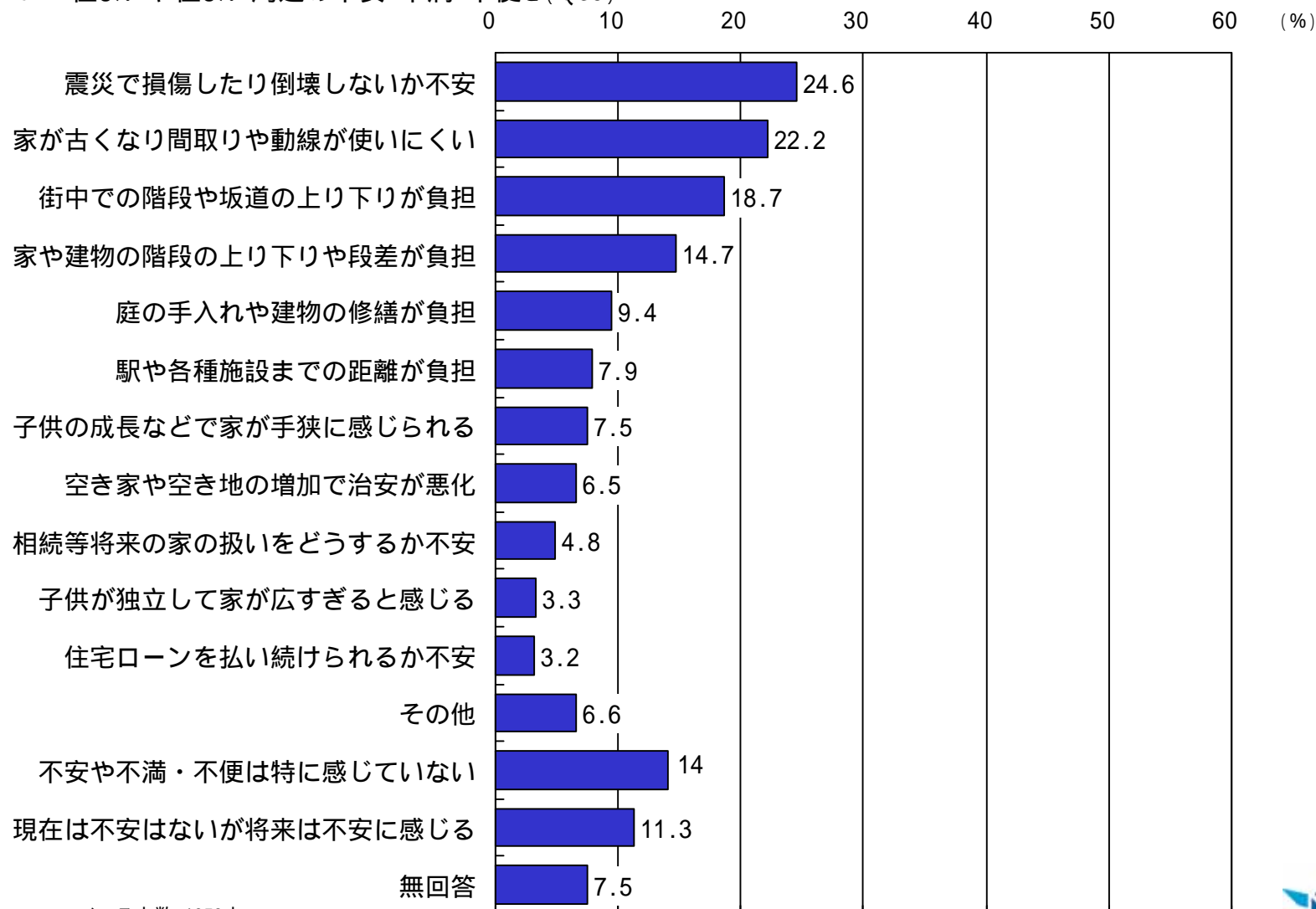
参考 再掲: たまプラーザの街に対する満足度: 全体満足度 (Q2)



## 5) 住まいや住まい周辺の不安・不満・不便さについて

住まいや住まい周辺の不安・不満・不便さとして、「震災での損傷や倒壊」「間取りや動線の使いにくさ」を挙げる人が多いほか、街中や家での段差に対しても負担に感じている人が少なくないようです。

図表4 - 9 住まいや住まい周辺の不安・不満・不便さ(Q39)

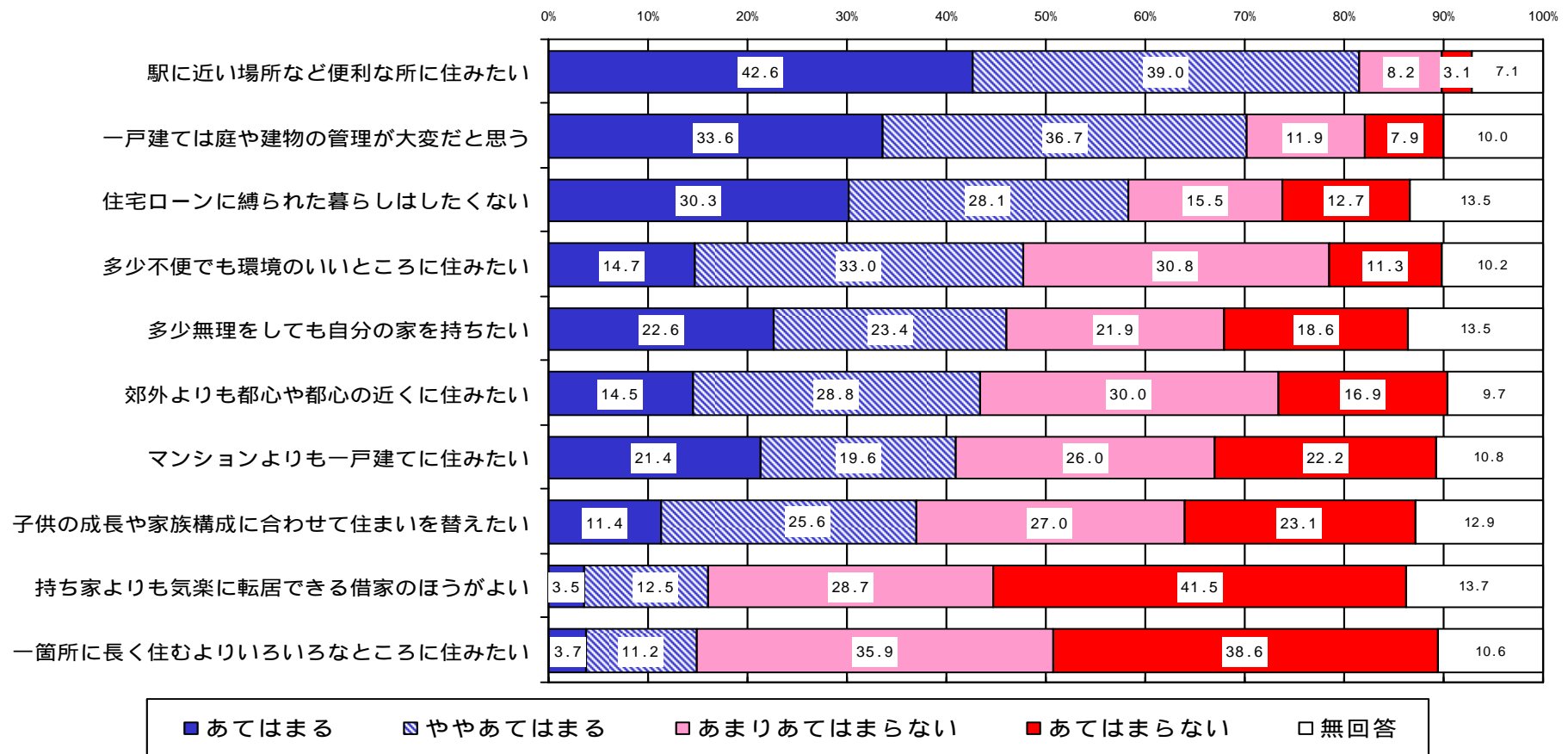


ベース人数:1358人

## 6) 住まいに対する意識について

「便利な場所に住みたい」、「戸建は管理が大変」と考えている人が多いようです。また「家族構成に合わせて住み替えたい」という人も4割近くみられます。

図表4 - 10 住まいに対する態度・考え (Q40)



ベース人数: 1358人



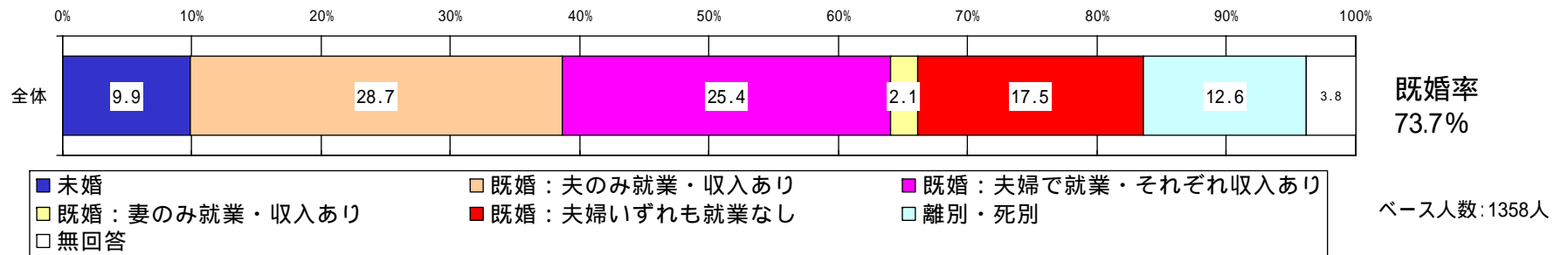
## 5 . 家族・世帯の状況



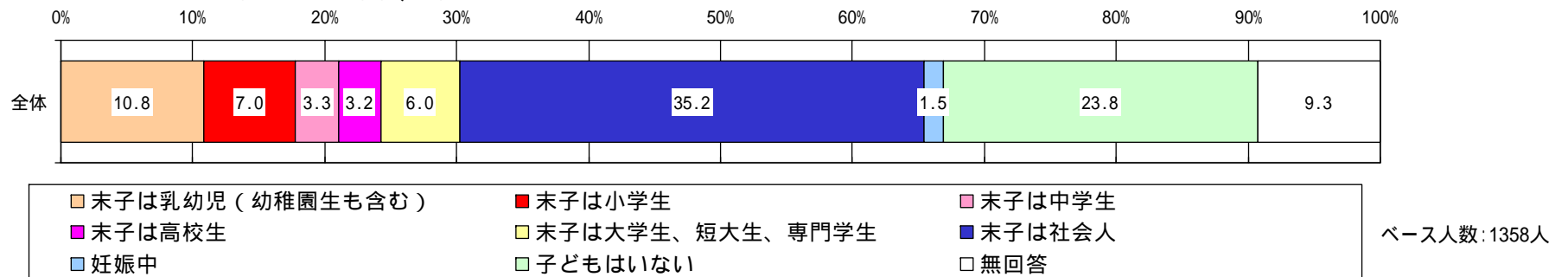
# 1) 未既婚・ライフステージについて

既婚が74%。また夫のみ就業している家庭が約3割、夫婦で就業している家庭が25%という一方で、夫婦とも就業していない家庭も2割近いことがわかりました。

図表5 - 1 未既婚・夫婦の就業状況 (Q47)



図表5 - 2 ライフステージ (未婚含む) (Q48)

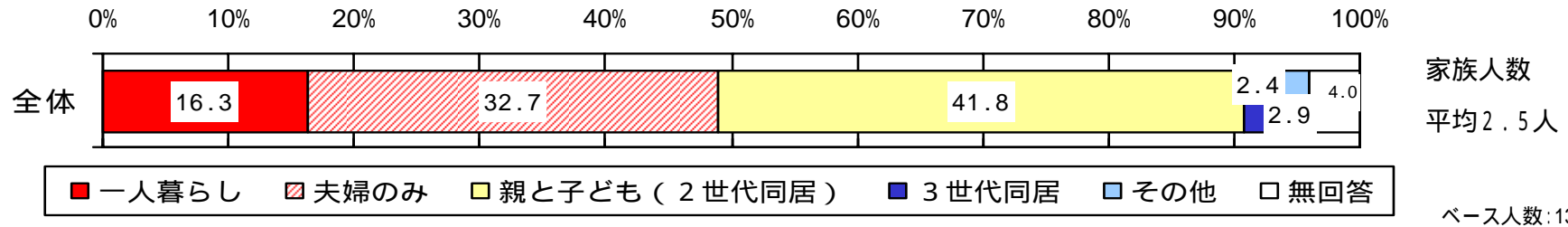




## 2) 同居家族構成・離れている家族について

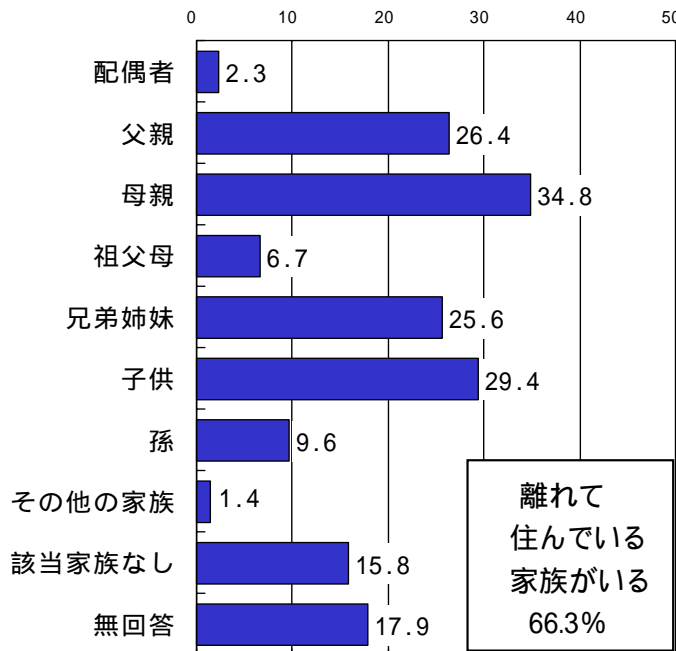
同居している家族構成では、「親と子ども」が42%、「夫婦のみ」が33%、「一人暮らし」が16%となっています。

図表5 - 3 同居家族構成 (Q49)



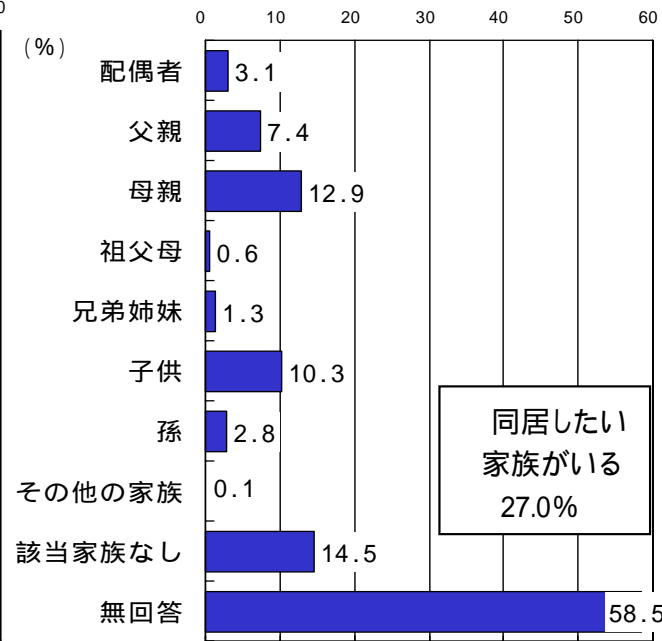
要介護家族のいる人 5.5% (施設に入所している2.2%、居宅サービスを受けている3.3%)

図表5 - 4 離れて住んでいる家族 (Q52)



ベース人数: 1358人

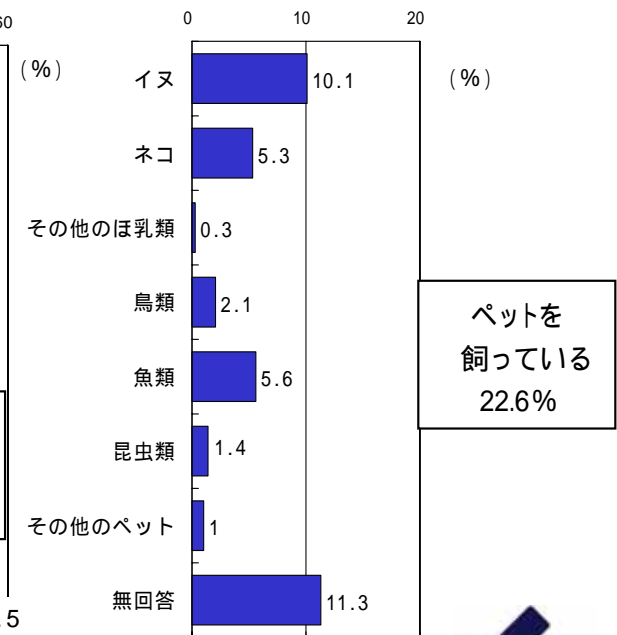
図表5 - 5 同居したい家族  
: 離れている家族のいる人対象 (Q53)



40

ベース人数: 901人

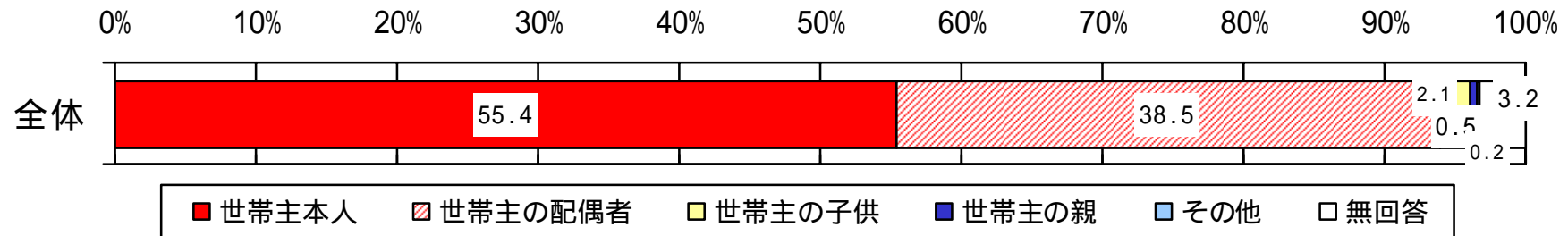
図表5 - 6 飼っているペット (Q54)



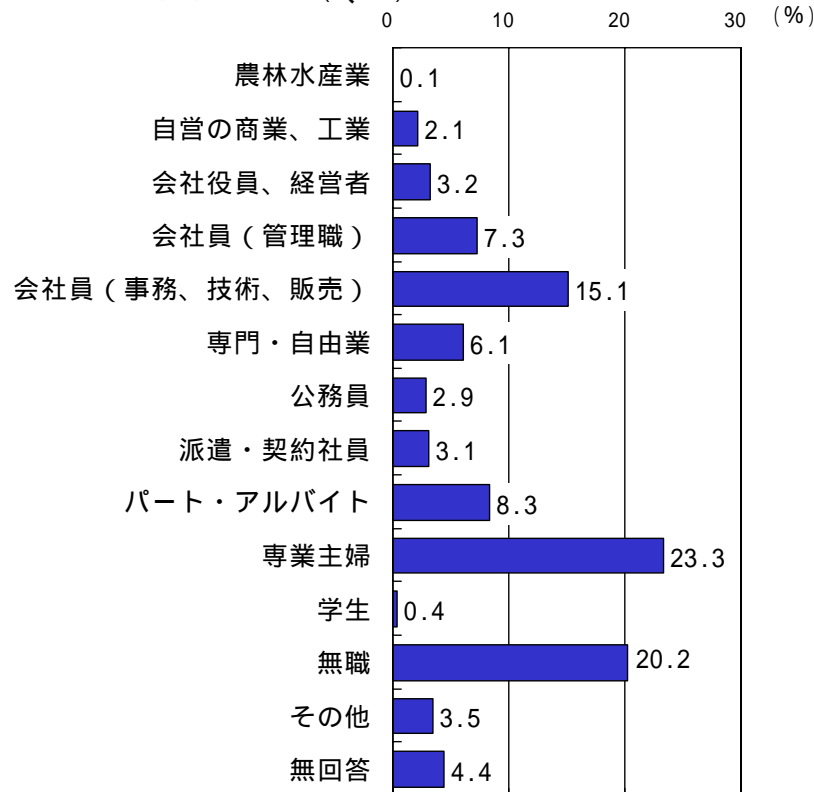
### 3) 職業(回答者本人・世帯主)について

世帯主の職業では会社員が約4割の一方で、無職との回答も25%にのぼりました。

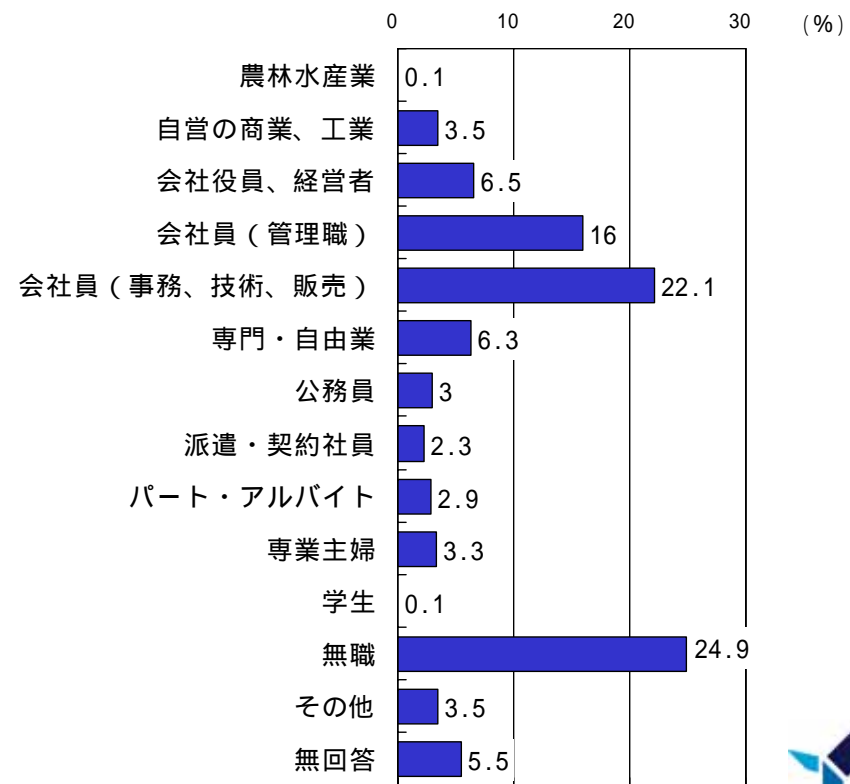
図表5 - 7 回答者本人と世帯主の関係(Q55)



図表5 - 8 回答者の職業(Q56)



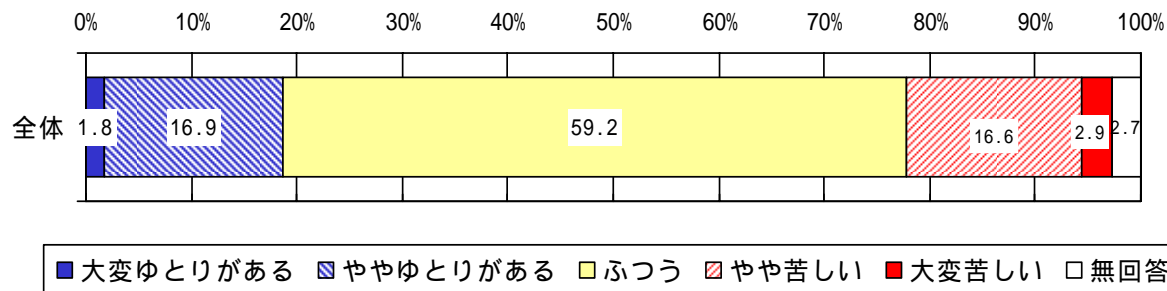
図表5 - 9 世帯主の職業(Q57)



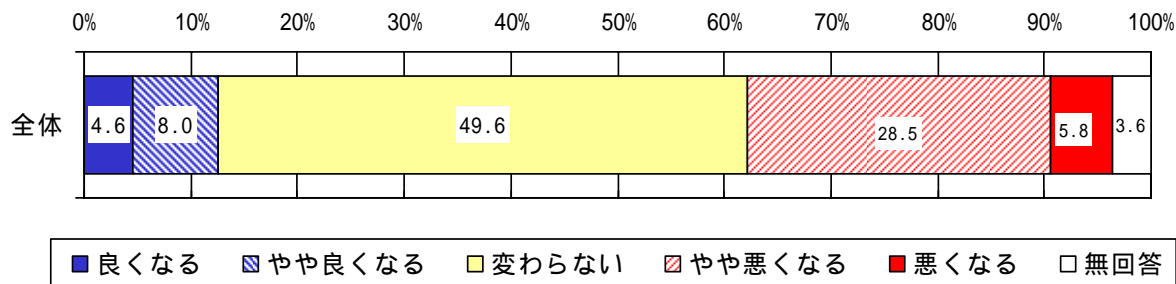
## 4) 暮らし向き意識・収入源について

現在の暮らし向きは「ふつう」が6割、「ゆとりがある」・「苦しい」が2割ずつとなっています。一方、将来については、全体の3分の1の人が「悪くなる」と感じています。

図表5 - 10 現在の暮らし向き意識 (Q58)



図表5 - 11 将来の暮らし向き意識 (Q59)



ベース人数: 1358人

図表5 - 12 家庭の主な収入源 (Q60)

